

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部令和7年度分を含む」)

静岡県立榛原高等学校

## 目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	20
3	学校施設の概要	21
4	在籍生徒調	22
5	入学志願者及び入学者数調	23
6	卒業生の動向調	24
7	生徒の状況	25
8	授業料収納状況調	26
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	30
10	預 金 調	31
11	郵券等受払調	32
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	33
13	委託料に関する調	35
14	補助金支出調	39
15	負担金支出調	40
16	建築工事調	42
17	公有財産調	44
18	借地借家等調	45
19	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	46
20	行政財産貸付・使用許可調	47
21	職員公舎管理状況調	48
22	主要備品調	49
23	職員調	50
24	職員の年齢調	53
25	健康管理	54

## 事務事業の概要

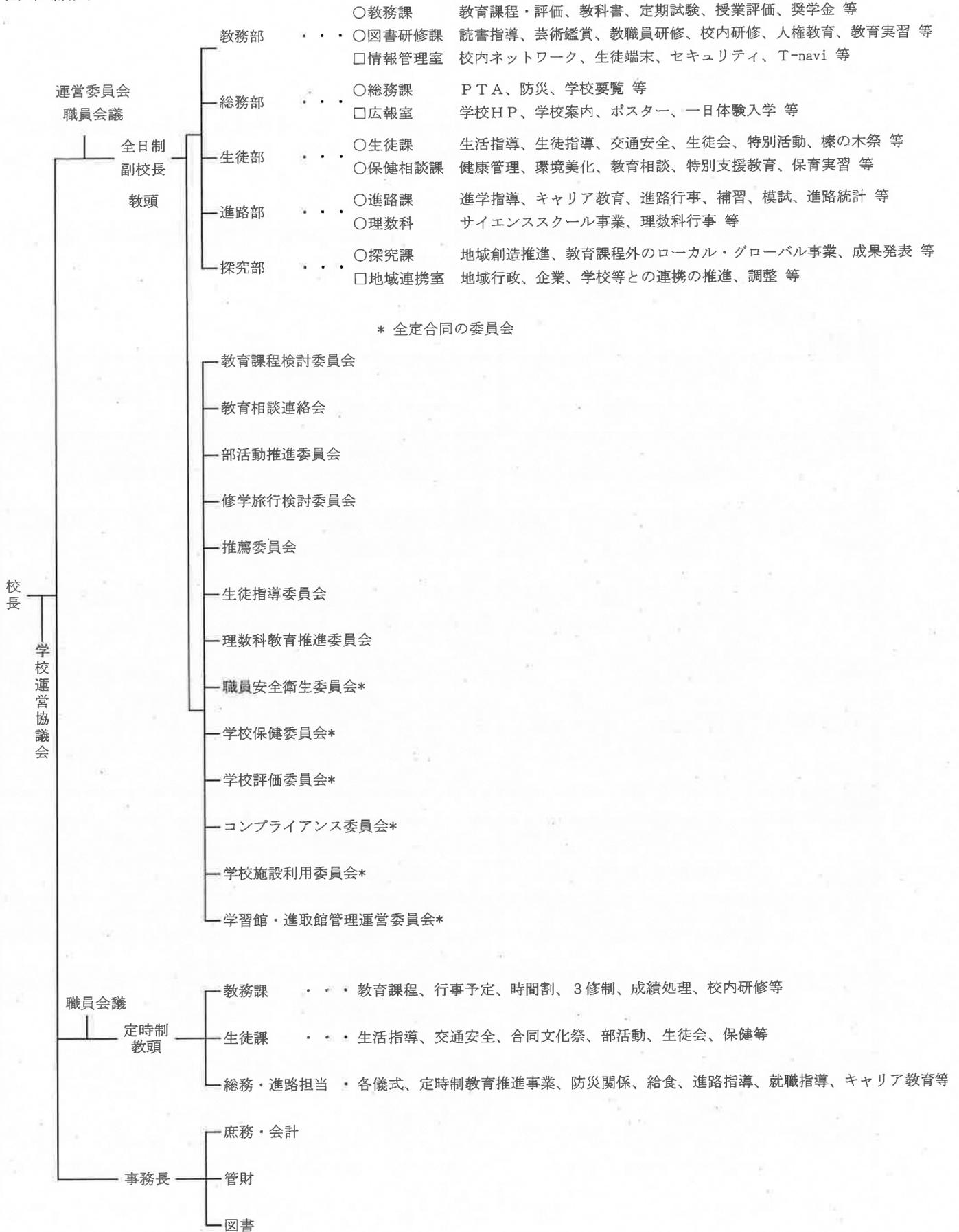
## 1 概況

## (1) 学校の沿革

- 明治 33. 7. 1 吉田村立中学堰南学校創立 生徒数30人 教員5人 創立者 浅井熊太郎  
(開校式は7月16日)
34. 3. 27 榛原郡立榛原中学校設置 定員250人
45. 4. 1 川崎町立榛原女学校創立
- 大正 6. 4. 1 静岡県に移管し、静岡県立榛原中学校となる。  
川崎町外3ヶ村組合立榛原実科高等女学校設置 定員50人
8. 4. 1 川崎町外10ヶ村組合立榛原実科高等女学校設置 定員50人
14. 4. 1 組合立榛原高等女学校 定員100人
- 昭和 2. 4. 1 静岡県に移管し、静岡県立榛原高等女学校となる。
23. 4. 1 新学制により榛原中学校は榛原第一高等学校に、榛原高等女学校は榛原第二高等学校に移行 榛原第一高等学校に定時制課程(昼夜)を併設 定員40人
24. 4. 1 県下高等学校再編に伴い、両校を母体として静岡県立榛原高等学校設置  
通常課程に普通科、家庭科(被服科)、農業科を置き、定時制課程に普通科、農業科を置く。
26. 4. 1 定時制課程の昼定を廃止
32. 4. 1 農業科募集停止 全日制普通科 定員 200人 家庭科(被服科)定員 100人
34. 8. 2 体育館兼講堂竣工
38. 4. 1 全日制普通科 定員400人 被服科 定員50人 定時制普通科 定員40人
41. 3. 30 新館第2棟第1期工事完了
42. 3. 25 新館第2棟第2期工事完了 第2グラウンド完成
44. 3. 25 新館第1棟第1期工事完了
45. 3. 31 新館第1棟第2期工事完了
46. 3. 31 新館第1棟第3期工事完了
46. 9. 17 庭園完成
47. 4. 1 被服科募集停止 普通科 定員315人
51. 1. 31 体育館・格技場竣工
54. 3. 30 プール完成 鋼製25m
55. 4. 1 全日制普通科 定員360人(1学級増)
55. 7. 20 榛の木会館(生徒研修館)竣工
57. 4. 1 全日制普通科 定員315人(1学級減)
57. 9. 5 第2棟校舎耐震補強工事完了、自転車置場完成
57. 10. 30 文化部室完成
58. 3. 10 第2グラウンド拡張整備工事完了
58. 4. 1 全日制普通科 定員360人(1学級増)
59. 8. 15 運動場夜間照明施設完成

	61.	4.	1	全日制理数科設置 定員40人(1学級) 全日制普通科 定員315人(1学級減)
	62.	10.	31	第1棟校舎耐震補強工事完了
	63.	3.	15	女子更衣室棟完成(2教室分)
昭和	63.	4.	1	全日制普通科 定員360人(1学級増)
平成	元.	3.	24	グラウンド改修工事完了 自転車置場増築
	3.	3.	25	運動部室完成
	4.	3.	25	弓道場完成
	4.	4.	1	全日制普通科 定員315人(1学級減)
	5.	4.	1	全日制普通科 定員301人
	6.	4.	1	全日制普通科 定員294人
	7.	4.	1	全日制普通科 定員287人
	8.	4.	1	全日制普通科 定員280人
	9.	8.	29	第2棟校舎外壁・建具等改修工事(第1期)完了
	10.	8.	27	第2棟校舎外壁・建具・給水配管等工事(第2期)完了
	12.	7.	27	学習館を県に寄付(平成11年12月竣工)
	12.	11.	18	創立100周年記念式典挙行
	16.	4.	1	全日制普通科 定員240人(1学級減)
	18.	4.	1	全日制普通科 定員200人(1学級減)
	22.	4.	1	全日制普通科 定員240人(1学級増)
	22.	12.	3	昇降棟・プール付属棟耐震補強工事完了
	23.	4.	1	全日制普通科 定員200人(1学級減)
	24.	2.	15	講堂耐震補強工事完了
	29.	10.	10	理数科2年海外修学旅行開始(3泊5日)
令和	元.	5.	16	文部科学省委託事業 地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)指定校
	元.	7.	16	静岡大学教育学部との連携協定締結
	2.	4.	1	全日制普通科 定員160人(1学級減)
	2.	10.	14	進取館竣工
	2.	11.	14	創立120周年記念式典挙行
	6.	4.	1	全日制普通科 定員120人(1学級減)

(2) 組織図



## 2 目指す学校像

### (1) 校訓・生活信条

校訓 「至誠真剣」

生活信条「時を守り、礼を正し、場を浄める」、「進取の精神」

### (2) 教育目標（スクール・ミッション）

#### ア 全日制

地域に愛され、地域と生きる普通科・理数科併置校として、進学希望を実現する教育活動と、グローバルな探究を通して、未来の社会の発展に貢献するリーダーとなる、能力と視野をもった人の育成を目指す。

#### イ 定時制

地域に根差した定時制高校教育の伝統校として、地元の企業や人材と連携し、個に応じた教育を通して、時代の変化に対応できる人材の育成を目指す。

### (3) スクール・ポリシー（教育の方針）

#### ア 全日制

#### 【普通科】

観点	グラデュエーション（卒業）	カリキュラム（教育課程）	アドミッション（入学）
	次のことを育成します	次の教育を実践します	次のような生徒の入学を期待します
学力・進路	大学等や実社会で力を発揮して活躍するための確かな学力	全体・個別に最適な学びを通じて、進路実現を可能にする学習	大学等への進学を目指して主体的に学ぶ意欲をもつ
グローバル探究	世界と地域に目を向けて探究し、社会参画しようとする態度	地域、大学等と連携したグローバルな探究活動や研修	様々なことについて探究心をもつ
資質・能力	他者と対話・協働し、課題解決、情報活用に主体的に取り組み創造する力	主体的・対話的・協働的に課題を発見・解決し、発信する活動	目標を設定し、他者と協力しながら向上心をもって行動する
課外活動	主体性と協調性をもって組織や社会に貢献する姿勢	教科等の学習と部活動等の課外活動との文武両道を実践	部活動、課外活動において積極的に行動する
人格・理念	進取の精神と、社会で協調・適応・自己表現できる人	進んで物事に取り組む姿勢、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育	他者への思いやりと、物事にチャレンジする意欲をもつ

#### 【理数科】

観点	グラデュエーション（卒業）	カリキュラム（教育課程）	アドミッション（入学）
	次のことを育成します	次の教育を実践します	次のような生徒の入学を期待します
学力・進路	大学や実社会で力を発揮して活躍するための確かな学力	個別に最適な学びを通じて、幅広い教養、理数系科目と英語の学習	大学進学を目指して主体的に学ぶ意欲と理数系への関心をもつ
グローバル探究	世界と地域に目を向けて探究し、社会参画しようとする態度	地域、大学等と連携したグローバルな探究活動や研修	強い好奇心、理系分野への探究心をもつ
資質・能力	他者と対話・協働し、課題解決、情報活用に主体的に取り組み創造する力	主体的・対話的・協働的に課題を発見・解決し、発信する理数探究や研修	目標を設定し、向上心とコミュニケーション力をもって行動する
課外活動	主体性と創造力を活かして組織や社会に貢献する姿勢	教科等の学習、部活動等の課外活動、自己の興味を高める活動を実践	部活動、課外活動、自主的な活動において積極的に行動する
人格・理念	進取の精神と、社会で協調・適応・自己表現できる人	進んで物事に取り組む姿勢、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育	他者への思いやりと、粘り強く努力する姿勢をもつ

イ 定時制

観点	グラデュエーション (卒業)	カリキュラム (教育課程)	アドミッション (入学)
	次のことを育成します	次の教育を実践します	次のような生徒の入学を期待します
学力・進路	実社会で力を発揮して活躍するための基礎学力とそれを活用する力	個に応じた細やかな教科指導やICTを活用した学びの支援	高校卒業を目指して学ぶ意欲をもつ
特活・総合	幅広い視野をもち、主体的にコミュニケーションを取ろうとする態度	学年を超えた関わり合い、自己の在り方生き方を考える探究活動	地域や社会に関心をもち、課題を解決しようとする
就業	地域社会に即戦力として貢献できる人材	地域企業・人材と連携した活動を通して適切な勤労観を育てる教育	仕事と学業を両立しようとする意志がある
人格・理念	自他を尊重する心をもち、それぞれに自己実現を目指す姿勢	個性・多様性を尊重し、一人ひとりに寄り添った生徒指導・支援	他者を理解し、思いやる姿勢をもつ

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア 全日制

- (ア) 学び…個別最適な学びを通じて学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う。
- (イ) 進路…一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う。
- (ウ) 生活…規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、他者を尊重する心を育む教育を行う。
- (エ) 安全…安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う。
- (オ) 職員…教職員の資質向上を協働的に図るとともに、業務の改善を行う。
- (カ) 広報…学校関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する。

イ 定時制

- (ア) 学び…基礎学力を定着させつつ、個に応じた教科指導と、主体的に取り組む探究活動を行う。
- (イ) 進路…一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携した進路指導と勤労観の育成を推進する。
- (ウ) 生活…基本的な生活習慣を身に付け、諸活動を通じて自他を尊重する心をもった生徒を育成する。
- (エ) 安全…心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な環境づくりを教職員・生徒ともに行う。
- (オ) 職員…授業・業務改善等の資質向上を図るとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスを改善する。
- (カ) 広報…学校関係者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題 (重点目標はゴシック体で記載)

ア 全日制

	取組目標	成果目標	達成状況 ( )はR5	評価	成果と課題
ア	個別最適な学びを通じて確かな学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う	○教員は授業内容を理解できるよう指導していると思う生徒90%以上 ○自分が行うべき家庭学習ができている生徒80%以上	生徒93.9%(89.6%) 保護者92.1%(88.8%)  生徒68.9%(71.8%) 保護者72.5%(68.5%)	B	○全学年の教科・科目が新課程に移行し、試行錯誤しながらも各教員が思考力等の育成を意識した指導を行っている。  ○大半の生徒は課題を中心に家庭学習に取り組んでおり、課題を全く提出しない生徒は極少数である。しかし、家庭学習を学力の伸長に効果的に結び付けられる生徒は多数派とは言えず、特に長期休業中の課題に対して義務的に取り組む傾向が強い。課題の全体量の適正化を図りつつ、家庭学習への意識の更なる向上を目指す。

取組目標	成果目標	達成状況 ( )はR5	評価	成果と課題	
	<p>○個人端末を効果的に活用した学習等をする生徒 90%以上</p> <p>○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒 85%以上</p> <p>○県内外と連携したグローバル事業(研修、発表等)を実践している</p> <p>○英語4技能を高められた生徒 75%以上</p> <p>○新着図書情報等を毎月発信</p>	<p>生徒 81.2%(84.6%)</p> <p>生徒 83.7%(83.6%)</p> <p>保護者 86.6%(89.3%)</p> <p>生徒 81.4%(77.0%) 英検 1級0人(0人) 準1級2人(1人) 2級22人(35人) 準2級61人(63人)</p> <p>毎月掲示(生徒向)・発信(保護者向)した。</p>		<p>○個人端末については、教員・生徒の活用頻度にはまだばらつきは残っているが、引き続き効果的な活用を促す。</p> <p>○普通科の総合的な探究の時間は、昨年までの実績を元に、内容を修正、改善して実施することができた。</p> <p>○地元企業、自治体、NPO 法人等と連携した事業を行うことできた。令和元年度以来の海外研修(ベトナム)を実施した。研修の在り方については今後も検討していく。</p> <p>○スピーキング能力を図るテストを1年生は各学期に1回、2年生は年1回ずつ実施することができた。英検では、1年次に準2級の取得、2年次に2級の取得をより積極的に呼びかける。</p> <p>○順調に発信できた。図書情報は充実しており、紹介があった本を図書館で借りる様子が見られた。</p>	
イ	<p>一人ひとりの進路希望実現のため、系統的かつ個に応じた進路指導・支援を行う</p>	<p>○進路指導に満足している生徒 85%以上</p> <p>○学びの基礎診断や模擬試験における結果前年度比アップ</p> <p>○卒業生の国公立大学合格 30%以上</p> <p>○探究活動等を活かして進学する生徒 20人以上</p> <p>○理数探究の内容が満足できるレベルと判断する生徒 75%以上</p>	<p>生徒 88.5%(81.3%) 保護者 86.3%(80.6%)</p> <p>1・2年生は7月と11月の模試で前年度の成績を上回った。</p> <p>前期入試までで 63人(32.5%)が合格</p> <p>前期入試までで 41人、うち国公立大学は17人が合格</p>	B	<p>○生徒の学力や進路意識が多様化する中、80%を超える満足度を維持することができた。担任が継続的に面談を行い、総合型・学校推薦型選抜受験が大幅に増えた中で生徒に応じた個別指導を全職員で実施した。働き方改革との両立が課題である。</p> <p>○個別最適化指導に向け教職員が一丸となって指導している。</p> <p>○引き続き国公立大学を志望する生徒を支援し合格者が増えるよう学習指導に当たる。目標値については、生徒の実態を踏まえ適宜見直していく。</p> <p>○12月時点では目標を達成し、探究活動を通じて大学が求める資質・能力を育てることができていると感じる。</p> <p>○生徒は熱心に取り組んでおり自己評価は高いが、実際の様子は個人差が大きい。教員配置の問題はあるが班の人数を減らすことで、生徒全員で分担し探究していく体制を作る。</p>

	取組目標	成果目標	達成状況 ( )は R5	評価	成果と課題
		○「進路勉強会」の保護者満足度平均 80%以上	保護者81.6%(83.9%)		○2回の進路勉強会と、10本の動画提供に形式を変えた。勉強会は Zoom も併用したが対面で 30 名以上が集まり、内容も好評だった。動画は 10 分程度で分かりやすいものとなっていて、適切なタイミングで保護者や生徒に視聴してもらえるように提供した。
ウ	規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、仲間を尊重する心を育む教育を行う	○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒 95%以上 ○期限を守っている生徒 90%以上 ○校外外においてあいさつができていた生徒 95%以上 ○教員は生徒の個性を尊重していると思う生徒 85%以上 ○課外活動に積極的に参加している生徒 85%以上	生徒 96.3%(94.0%) 生徒 89.3%(89.6%) 教員 97.0%(93.6%) 生徒 98.2%(98.1%) 保護者88.8%(88.4%) 教員 94.3%(91.1%) 生徒 87.6%(77.8%) 保護者83.9%(83.4%) 教員 100%(90.6%) 生徒 89.6%(87.6%)	B	○多くの生徒・教員が積極的に端末機器を利用している。スマホを介してのトラブルはなかったが、日頃から注意喚起をしていく。端末機器の利用については、利用規約を明確にし、継続して適切な使い方を指導する必要がある。トラブルの未然防止を心掛ける。 ○期限を守ることが第一であるが、取組内容の質と効果を意識させ、指導の仕方も配慮しながら改善を促していく。 ○生徒が自ら進んであいさつをする習慣が着実に身についている。 ○教員の個性を尊重した指導は、更なる改善を目指す。 ○部活動、委員会、校外の行事、探究的活動に積極的に参加することができた。主体的に取り組むことのできる生徒の意識は文化として定着しており、これを維持できるよう支援していく。
エ	安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う	○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒 90%以上 ○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒 90%以上 ○教育相談に満足している生徒 80%以上、保護者 80%以上 ○いじめ、体罰、重大事故 0件	生徒 86.3%(85.9%) 教員 85.7%(85.7%) 生徒 94.6%(95.7%) 保護者91.6%(87.9%) 教員 100%( 100%) 生徒 89.0%(84.9%) 保護者83.0%(80.6%) 0件	B	○清掃活動がいっそう充実するために、美化委員による点検を引き続き行い、清掃分担箇所の見直しを柔軟に行う。 ○年間を通して感染症対策を行った。流行時は、呼びかけを強化する。次年度は、熱中症対策の見直しも行う。 ○1分間カウンセリングなどを実施して困っている生徒を早期に把握し、スクールカウンセラーから助言をいただきながら、適切に対応できている。人間関係に悩む生徒が増加しており、今後も丁寧な観察・声掛けが必要である。 ○未然防止に努め、次年度以降も引き続き発生件数0件を目指す。

	取組目標	成果目標	達成状況 ( )はR5	評価	成果と課題
		○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒90%以上	生徒89.9%(85.2%) 保護者85.3%(86.2%)		○校舎が古い、トイレを改修してほしいなどの指摘は複数いただいているが、数値目標は概ね達成できた。コンプライアンス研修を年間15回以上行い、生徒・教員に対して注意喚起を行うことができた。危険箇所や不良箇所の迅速な修繕に努めた。
オ	教職員の資質向上を協働的に図るとともに、業務の改善を行う	○校内研修テーマ「学校生活空間をデザインする」について協働的に研修した教員90%以上 ○他教員の授業見学を年2回以上行った教員85%以上 ○校外研修に参加した教職員80%以上 ○時間外在校等時間が前年度比で減少した教職員60%以上	教員94.3%(96.9%)  教員64.5%(87.9%)  教員68.6%(82.9%)  教員51.5%(48.5%)	B	○将来を見越し(生徒の実状を鑑み)た学校生活空間の利活用方法について、生徒意見も聴取して、教職員間で協働的に話し合いができた。  ○生徒個人端末を利用した教育活動の実践を更に広げるために、互いに授業見学するよう働きかけていく。  ○教員の負担軽減と校外研修参加率のバランスを取りつつ、向上を目指す。  ○数値目標は達成できなかったが、時間外勤務時間が減少した教職員が昨年度より改善し、過半数を超えることができた。次年度に向けて、引き続き教員の時間外勤務の縮小に向け働きかけていく。
カ	学校関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する	○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○保護者の学校満足度90%以上 ○HPやインスタグラムの記事を月平均で15回以上投稿する ○定期的に関覧する保護者60%以上 ○学校が必要な情報を発信していると思う保護者95%以上 ○学校広報掲示物を月1回発行	管理職:活かすことができた。  保護者90.7%(91.4%) 生徒89.8%(86.9%)  教員:達成できた。  保護者70.2%(68.0%)  保護者95.3%(95.7%)  発行できた。	A	○第2回協議テーマ:「学校生活空間をデザインする」、第3回協議テーマ:「持続的、発展的な探究を目指して」について協議し教職員や生徒に情報共有した。 ○保護者の満足度は達成された。生徒の満足度は、昨年度より向上したが、数値目標達成までもう一步であった。 ○学校行事から生徒個人の活躍など幅広く配信できた。  ○Instagramの導入に伴い閲覧数も伸び、目標を大きく上回った。  ○ClassiやGoogleの活用が日常的になり、情報発信はとてもしやすいが、その分情報が埋もれてしまう課題もある。  ○学校案内や榛原高校通信「進取」等、充実した内容の広報誌を発行することができた。

取組目標	成果目標	達成状況( )はR5	評価	成果と課題
	○一日体験入学、オープンスクール等の満足度90%以上	1日体験：98.2% 回答数279人 (93.2%、307人) オープン：92.5% 回答数160人 (98.7%、147人)		○一日体験入学は外部会場での3度目の実施で、2日2会場から1日1会場に変更したが、総務部広報室を中心に準備を行い内容の濃いものとなり、98.2%という大変高い満足度を得た。1会場にしたことの影響はさほど大きくないと考えられる。オープンスクールは例年同様9月と11月に2回行い、90%を超える満足度を得た。新規に始めた教員対象の説明会にも、多くの参加者があり、これも高い満足度を得た。

イ 定時制

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 基礎学力を定着させつつ、個に応じた教科指導と、主体的に取り組む探究活動を行う	○学力テスト合格者80%以上	合格率86% (R5:80%)	A	基礎力テストを年5回実施。事前にアナウンスを行ったことで、生徒の主体性を高め、再テストを含めて熱心に取り組む生徒が増加し、合格率の向上に繋がった。
	○授業満足度85%以上	満足度96% (R5:86.1%)		学期末に授業評価アンケートを実施。授業改善の参考とし、満足度が大幅に増加した。
	○ニーズに合った日本語支援を行っている	「定時制学習支援」「外国人生徒支援」等の制度を活用し、個に応じた教育に対応した		授業で使用するプリントにルビを振ったり、生徒が用いる言語に合わせたスライド作成を行ったりして、様々な生徒へ対応した。
	○端末機器を効果的に活用した学習等をする生徒90%	達成率100% (R5:86.6%)		日々の授業で積極的に端末機器を取り入れていることや、使用上の問題点を個別に対応することで全生徒が問題なく活用することができた。
	○総合的な探究の時間において主体的に取り組む生徒80%	主体的に取り組む生徒94.5% (R5:87.9%)		学年ごとに「身に付けたい能力」を明確にし、それらのカリキュラムを丁寧に指導した。また、3年生においては、本校定時制として初めて「インターンシップ」を実施。地域の期待等もあり、継続して実施する。
	○授業外で月に数回程度以上活字を読む生徒50%以上	達成率72.2% (新規)		国語の授業内で、図書室を活用した授業を取り入れたことで普段の生活で活字に触れる生徒の割合が増加した。また、電子書籍を利用している生徒も多い印象であった。
イ 一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携した進路指導と勤労観の育成を推進する	○進路指導満足度90%以上	アンケート未実施 (R5:100%)	B	適切な情報提供や保護者を含めた面談、外部講師を招いた進路セミナーなどを年5回程度実施。インターンシップは、3年生の進路意識の向上に好影響をもたらした。 3修制での卒業生2名を加えた8名全員の進路が決定した。
	○進路実現に向けた保護者面談の実施2回以上	未実施率100% (R5:100%)		
	○卒業後の進路決定者100%	達成率100%		
	○進路講演会の生徒満足度80%以上	「大変満足」「満足」と答えた生徒89.7%		

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		○進学に関する情報提供、学習支援を個別に行っている	4年生はもちろんのこと、3年生2名の「3修制」にも対応できた		3修制での卒業希望2名が「常葉大学教育学部」、「静岡県立農林環境専門大学短期大学部」へ一般推薦で合格した。
ウ	基本的な生活習慣を身に付け、諸活動を通じて自他を尊重する心をもった生徒を育成する	○月毎の規範意識目標を心掛けて生活している生徒80%以上	達成率68% (R5:71%)	B	昨年度と比較し達成率が減少。生徒の意識を高められるよう、取り組み方などの改善が必要である。
		○重大交通事故0件	四輪による交通事故3件 (R5:0件)		生命に関わる事故でなかったことが不幸中の幸いであるが、4年生1件、3年生2による交通事故2件(2件とも同じ生徒)が発生。いずれも秋であったため、全校集会等で、「疲労に気をつける」ことや「日の入りが早くなってきている。早めのライトアップを」等を生命の大切さなどと絡めて講話を行った。
		○期限を守っている生徒90%以上	達成率97.2% (R5:90.2%)		日ごろのホームルームや全校集会などの講話等で、多方面からのアプローチにより期限厳守の重要性を説いていることが目標達成に繋がった。
		○事前連絡のない欠席・遅刻者の数1日平均2人以下	連絡のない欠席1.07人 遅刻0.4人 (新規)		生徒の安全性を確認するために今年度より設定。日ごろから連絡の重要性を説いていることが結果に繋がった。
		○校内においてあいさつができてきている生徒90%以上	達成率89% (R5:85.7%)		昨年度より微増。目標に多少及ばなかったものの、多くはできている。
		○学校・生徒会行事に楽しく参加している生徒90%以上	達成率92% (R5:92.6%)		達成率は昨年度並。生徒会を中心に、全員が協力し楽しそうに活動できた。
		○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒90%以上	生徒94.7% (R5:91.4%) 教職員100% (R5:100%)		報道等による感染状況を踏まえ、HRや「保健だより」を通じて呼びかけを行うことができた。
エ	心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な環境づくりを教職員・生徒ともに行う	○受診勧告書に対する治療状況報告60%以上	報告62.7%(1月末現在) (R5:36%)	A	各種健康診断後に「受診勧告書」を配布。個別指導を行い、受診に繋げることができた。
		○朝食摂取率80%以上	朝食摂取率89.1% (R5:80%)		目標を上回った反面、朝食を食べる習慣がない生徒が一定数いることが気にかかる。
		○外部関係機関と必要な連携を行っている	外部関係機関と連携することができた		学校支援心理アドバイザーや行政機関と連携し、生徒の支援を行うことができた。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		○生徒情報交換会 週1回実施	特別なことがない限り、毎週金曜日の打合せ後に必ず実施		毎週行われる情報共有により、全職員が把握することで数少ない教員全体で対応することができた。
		○いじめ、粗暴行為 0件	「学校生活アンケート」の回答において、いじめ・粗暴行為ともに0件		毎学期末にアンケートを実施。「いじめや粗暴行為を受けたことがある」と回答した生徒は0名であった。
オ	授業・業務改善等の資質向上を図るとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスを改善する	○相互の授業見学年2回以上	年2回以上見学 85.7% (R5:57.1%)	A	今年度は初任者の研究授業や地区の研修会などがあり、外部の方に授業を御覧いただく機会も多数あった。
		○授業評価アンケート結果 前年度比同程度以上	87.4% → 96.2% (R5) (R6)		生徒からの評価が大幅に増加した。生徒個々へのきめ細やかな対応が身を結んだ結果である。反面、教員に対する負担も増加傾向にあると感じる。
		○校外・全日研修参加年2回以上	年2回以上参加 85.7% (R5:100%)		昨年度100%から大幅に減少してしまった。全日制との合同研修会などに積極的に参加できなかった。
		○業務分担が適切であると思う教員 80%以上	85.8% (R5:85.7%)		割合は昨年並であるが、業務分担の見直しは十分に改善の余地有。
カ	学校関係者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する	○外国人生徒保護者との面談を定期的を実施している	各学期末を中心に、外国人支援員を活用し実施	A	日本語を話せない保護者に対しては、外国人支援員を活用し面談や、場合によっては家庭訪問等を行いながら対応した。
		○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている	職員打合せの時間を利用し、情報を共有		委員の方からの御意見を参考に、日々の授業や学校行事などに反映した。
		○ホームページの記事を月平均で10回以上投稿する	ホームページへのアップ数37(1月末現在)		ホームページや、「定時制通信」を活用し、在校生・保護者・中学生・地域の方などに普段の学校生活の様子を発信している。
		○定時制通信発行年6回以上	定時制通信4回発行		
		○学校説明会の参加者満足度 85%以上	生徒 わかりやすかった 64.7% 興味を持った100% 保護者 わかりやすかった 86.7% 興味を持った 86.6%		令和6年11月13日(水)に実施し、生徒20名・保護者18名が参加した。半分程度は外国にルーツのある家族であった。参加アンケートからは好評であったが、更なる理解を深めるためには、外国にルーツのある方を対象とした説明会も視野に入れる必要があると感じた。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標（重点目標はゴシック体で記載）

ア 全日制

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	個別最適な学びを通じて確かな学力を高めるとともに、グローバルな探究活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の実態に即しつつ、教科等の内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。</li> <li>○自学課題等は、共通のものと発展的なものを示し、生徒が主体的に学ぶ支援をする。</li> <li>○生徒個人端末等のICTを活用した教育活動を実践し、学力と情報活用能力を高める。</li> <li>○対話的・協働的な学習や探究活動を通して、思考力、表現・発信力、協働力を高める。</li> <li>○HAFプロジェクトにより、県内外の団体、学校等と連携した探究活動・研修を充実させ、グローバルな資質・能力やリーダー性を育成する。</li> <li>○授業、特別活動等を通して読書を推奨する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員は教科等を理解できるよう指導していると思う生徒90%以上</li> <li>○自分が行うべき家庭学習ができている生徒80%以上</li> <li>○個人端末を効果的に活用した学習等をする生徒90%以上</li> <li>○探究活動等を通して思考力・表現力・協働力を高めた生徒85%以上</li> <li>○県内外と連携したグローバル事業(研修、発表等)を実践している</li> <li>○英語4技能を高められた生徒75%以上</li> <li>○新着図書情報等を毎月発信</li> </ul>
イ	一人ひとりの進路希望実現のため、系統のかつ個に応じた進路指導・支援を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路行事、補講、個別指導を適時適切に行い、生徒の進路希望達成を支援する。</li> <li>○学びの基礎診断等を有効に活用し、進学に向けての高い志と確かな学力を育てる。</li> <li>○進路シラバス、探究活動等と連動したキャリア教育を実践する。</li> <li>○体系的な理数科の教育計画により、理数探究等の質と難関大学進学の志を高める。</li> <li>○「保護者のための進路勉強会」を対面・オンラインを織り交ぜ計画的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路指導に満足している生徒85%以上</li> <li>○学びの基礎診断や模擬試験における結果 前年度比アップ</li> <li>○探究活動等を活かして進学する生徒20人以上</li> <li>○理数探究に積極的に関わったと判断する生徒75%以上</li> <li>○「進路勉強会」の保護者満足度平均80%以上</li> </ul>
ウ	規範を守り、進んで諸活動に取り組み、自己管理と礼節、他者を尊重する心を育む教育を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行動規範・ルールを守ることを、全ての教育活動において徹底する。</li> <li>○「時を守る」ことを適切に指導する。</li> <li>○日常場面でのあいさつ指導を通し、「礼を正す」ことを涵養する。</li> <li>○自他を尊重する態度を育成する。</li> <li>○生徒の個性、多様性を尊重した指導をする。</li> <li>○学校行事・課外活動における生徒の主体的な取組を支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内で端末機器を利用規約に沿って使用している生徒95%以上</li> <li>○期限を守っている生徒90%以上</li> <li>○校内外においてあいさつができている生徒95%以上</li> <li>○教員は生徒の個性を尊重していると思う生徒85%以上</li> <li>○課外活動に積極的に参加している生徒85%以上</li> </ul>
エ	安全で安心な学校生活を保ち、整った環境づくりを教職員・生徒ともに行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「場を浄める」ことを教職員と生徒が常に意識し実践する。</li> <li>○教職員・生徒が感染症予防等の健康・衛生管理を適切に行う。</li> <li>○個々の生徒の悩みや困り感に対応し、外部機関と連携した教育相談、ケース会議等を適時に行う。</li> <li>○確実な情報共有と初期対応により、生徒の生活の安全・安心を守る。</li> <li>○毎月の安全点検を通して、学校施設設備の維持管理を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内の清掃・整頓が行き届いていると思う生徒90%以上</li> <li>○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒90%以上</li> <li>○教育相談に満足している生徒80%以上、保護者80%以上</li> <li>○いじめ、体罰、重大事故0件</li> <li>○安心して学校で生活できる施設・環境であると思う生徒90%以上</li> </ul>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
オ	教職員の資質向上を協働的に図るとともに、業務の改善を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な教員研修等により、学校づくり、教育改善等について協働的に考える。</li> <li>○教員相互の授業見学を行い、授業改善を推進する。</li> <li>○業務の適正化を図り、教職員がワーク・ライフ・バランスを実現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内研修テーマ「3年間の進路指導の流れを改めて考える」について協働的に研修した教員 90%以上</li> <li>○他教員の授業見学を年2回以上行った教員 85%以上</li> <li>○時間外在校等時間が前年度比で減少した教職員 60%以上</li> </ul>
カ	学校関係者、保護者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を年4回実施し、効果的な協議の場とする。</li> <li>○学校ホームページ、SNS等により、適時な情報提供を行うとともに、地域・保護者の閲覧を促進する。</li> <li>○保護者等を対象とした情報提供を適時適切に実施する。</li> <li>○中学生や中学校教員を対象とした広報活動を戦略的に実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。</li> <li>○保護者の学校満足度 90%以上</li> <li>○HPやインスタグラムの記事を月平均で15回以上投稿する</li> <li>○定期的に閲覧する保護者 70%以上</li> <li>○学校が必要な情報を発信していると思う保護者 95%以上</li> <li>○学校広報掲示物を月1回程度発行</li> <li>○一日体験入学、オープンスクール等の満足度 90%以上</li> </ul>

イ 定時制

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	基礎学力を定着させつつ、個に応じた教科指導と、主体的に取り組む探究活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業及び定期基礎力テストにより基礎学力の定着に向けた指導を行う。</li> <li>○生徒の実態・多様性に即しつつ、授業内容が理解できるよう授業改善・工夫を行う。</li> <li>○協働的な学びや生徒の端末機器を活用した授業を実践する。</li> <li>○総合的な探究の時間において、主体的・協働的な学びを推進する。</li> <li>○新聞等を含め、読書することを推奨する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎力テスト合格者 80%以上</li> <li>○授業満足度 85%以上</li> <li>○生徒のニーズに合った日本語支援を行っている。</li> <li>○端末機器を効果的に活用した学習等をする生徒 90%以上</li> <li>○総合的な探究の時間において主体的に取り組む生徒 85%以上</li> <li>○授業外で月に数回程度以上活字を読む生徒 70%以上</li> </ul>
イ	一人ひとりの進路希望実現のため、地元と連携した進路指導と勤労観の育成を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○LHRや進路ガイダンスによる体系的な進路指導と適時の個別指導を行う。</li> <li>○地元企業と連携を図り、進路開拓や就労支援の充実を図る。</li> <li>○進学希望者のための進路ガイダンスを充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路指導満足度 90%以上</li> <li>○進路実現に向けた保護者面談の実施 2回以上</li> <li>○卒業後の進路決定者 100%</li> <li>○インターンシップの生徒満足度 80%以上</li> <li>○進路講演会の生徒満足度 80%以上</li> <li>○進学に関する情報提供、学習支援を個別に行っている。</li> </ul>
ウ	基本的な生活習慣を身に付け、諸活動を通じて自他を尊重する心をもった生徒を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会でより良く生きるためのモラルやマナーの育成を、全ての教育活動において適切に指導する。</li> <li>○「時を守る」ことを適切に指導する。</li> <li>○欠席・遅刻・早退者に対する面談を、個々の事情に配慮しながら実施する。</li> <li>○登校時のあいさつ等、日常場面での指導を通し「礼を正す」ことを涵養する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○月毎の規範意識目標を心掛けて生活している生徒 80%以上</li> <li>○重大交通事故 0件</li> <li>○期限を守っている生徒 90%以上</li> <li>○事前連絡のない欠席・遅刻者の数 1日平均2人以下</li> <li>○校内においてあいさつができている生徒 90%以上</li> </ul>

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
		○特別活動・行事等を通じて、共同性や親和的態度を育成する。	○学校・生徒会行事に楽しく参加している生徒90%以上
エ	心身ともに安定した生活を支援し、安心安全な環境づくりを教職員・生徒ともに行う	○教職員・生徒が感染症予防等の健康・衛生管理を適切に行う。 ○体調管理や傷病時における治癒の重要性について、生徒・保護者への働きかけを徹底する。 ○食の大切さを学び、健康な生活を心掛ける指導を行う。 ○個々の生徒の悩みや困り感に即応し、外部機関と連携した教育相談、ケース会議等を適時に行う。 ○確実な情報共有と初期対応により問題行動、いじめ等を未然に防ぐ。	○教職員は生徒の健康・衛生管理を適切に行っていると思う生徒90%以上 ○受診勧告書に対する治療状況報告60%以上 ○朝食摂取率80%以上 ○外部関係機関と必要な連携を行っている。 ○生徒情報交換会 週1回実施 ○いじめ、粗暴行為 0件
オ	授業・業務改善等の資質向上を図るとともに、教職員のワーク・ライフ・バランスを改善する	○相互の授業見学を積極的に行う。 ○生徒の授業評価を活用し、授業改善を行う。 ○校外研修や全日制での研修への参加を推奨する。 ○業務の適正化を図り、ワーク・ライフ・バランスを実現する。	○相互の授業見学 年2回以上 ○授業評価アンケート結果 前年度比同程度以上 ○校外・全日制研修参加 年2回以上 ○業務分担が適切であると思う教員80%以上
カ	学校関係者等とともに教育活動の改善に取り組み、適時に情報を共有・発信する	○外国人生徒支援制度等を活用し、支援の充実・改善を図る。 ○学校運営協議会（コミュニティスクール）を年4回実施し、効果的な協議の場とする。 ○地域・保護者に対する情報提供・広報を適時適切に実施する。	○外国人生徒・保護者との面談を計画的に実施している。 ○外国人生徒の日本語能力試験受験率50%以上 ○学校運営協議会の協議内容を学校運営に活かしている。 ○ホームページの記事を月平均で10回以上投稿する。 ○定時制通信発行 年6回以上 ○学校説明会の参加者満足度85%以上

#### 4 監査対象期間における特色ある取組

##### (1) 全日制

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	○文部科学省指定「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)(令和元～3年度)」への取組継続 ○文部科学省指定「スーパーグローバルハイスクール(SGH)ネットワーク参加校」 ○静岡県教育委員会「グローバルハイスクール指定校事業」及び「サイエンススクール」指定校 ○静岡大学教育学部・教育研究科との連携協定校 ○牧之原市事業 地域リーダー育成プロジェクト	○総合的な探究の時間 令和6年度から段階的に学校設定教科を取り下げ、総合的な探究の時間の形に戻すことで、評価についての課題を解決することができた。 ○課外活動 8月にイングリッシュ・キャンプを実施した。また、牧之原市が提供する地域連携事業として、地域リーダー育成プロジェクトに参加した。 12月には、海外研修(令和6年度はベトナムを目的地とした)を実施することができた。これまでコロナ禍や旅費の高騰により国内で実施していたため、本来企画していた活動を行うことができた。

年度	取組概要	成果及び課題
	これらの事業を通して、学力向上を図りながら、グローバルな視野を持つ将来の地域リーダーを育成する。	<p>○サイエンススクール（理数科） 大学等での研修・体験、科学探究講座、ロサンゼルス修学旅行を実施した。科学についての研修と体験、国外でのネイティブスピーカーとのコミュニケーションの実践等によって、具体的な進路希望につながる将来へのイメージを固めることができた。</p> <p>○取組全体における成果・課題等 生徒は各種事業に意欲的に参加し、成果をあげることができた。オンラインによる台湾高校生との交流など、活動の定番化が進んだ。</p>
令和7年度	<p>○文部科学省指定「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)(令和元～3年度)」への取組継続</p> <p>○文部科学省指定「スーパーグローバルハイスクール(SGH)ネットワーク参加校」</p> <p>○静岡県教育委員会「グローバルハイスクール指定校事業」及び「サイエンススクール」指定校</p> <p>○静岡大学教育学部・教育研究科との連携協定校</p> <p>○牧之原市事業 地域リーダー育成プロジェクト</p> <p>これらの事業を通して、学力向上を図りながら、グローバルな視野を持つ将来の地域リーダーを育成する。</p>	<p>○静岡大学との連携 静岡大学との連携協定については本年度協定期間が終了するが、改めて連携協定を締結することで、引き続き連携することとして調整を進めている。</p> <p>○課外活動 令和6年度に引き続きベトナムを目的地とした海外研修を行うため、準備を進めている。令和6年度の振り返りを生かして、より洗練し、磨かれた教育コンテンツとしたい。</p> <p>○取組全体における成果・課題等 定数減にもかかわらず、教員の奮闘により、本校にしかない魅力的な取組を存続あるいは創出できたのは大きな成果である。 しかしグローバルハイスクール(県教委事業)及び三菱みらい育成財団からの助成により実施が可能となっている事業が多く、いずれの助成も本年度でその期間を終了するため、予算的課題をどのように解決するかが大きな課題である。学級減や立地、施設設備においても多くの課題を抱える本校の魅力を持続発展させるためには、事業の精選は学校の魅力の喪失と隣り合わせである。その論理とは別視点での改善策を含め、中長期的な対応が必要である。</p>

(2) 定時制

年度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月：新入生歓迎会(生徒会主催)</li> <li>6月：レクリエーション大会(生徒会主催)</li> <li>10月：3年生インターンシップ(初)</li> <li>11月：遠足(豊橋のんほいパーク)インターンシップ成果発表会</li> <li>12月：校内球技大会(生徒会主催)</li> <li>2月：地元企業を招いての進路講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生歓迎会と称し「鍋会」を実施、全学年を縦割りグループとし交流を深めた。</li> <li>6月は祭日や学校行事等がないため、リフレッシュの意味も兼ねて生徒会が企画し「レクリエーション大会」を実施した。</li> <li>令和6年度よりキャリア教育の一環として、3年生を対象に「インターンシップ」を実施。3年生6名が各会社に出向き、無事に実施。11月26日に発表会も実施した。</li> </ul>
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月：新入生歓迎会(生徒会主催)あたたかみ事業①(国際理解)</li> <li>6月：レクリエーション大会(生徒会主催)</li> <li>10月：あたたかみ事業②(ドローン実演)3年生インターンシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生歓迎会と称し、1～4年生を縦割りの班として「鍋会」を実施。グループとして交流を深めた。</li> <li>6月は祭日や学校行事等がないため、リフレッシュの意味も兼ねて生徒会が企画し「レクリエーション大会」を実施した。</li> </ul>

年度	取組概要	成果及び課題
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11月：遠足(静岡県東部方面を検討中) インターンシップ成果発表会</li> <li>・12月：球技大会(生徒会主催)</li> <li>・2月：地元企業を招いての進路講演会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育の一環として、3年生を対象に「インターンシップ」を実施する。11月にはインターンシップでお世話になった企業の方を招いて、成果発表会を実施する予定である。</li> </ul>

## 5 教職員について

### (1) 異動状況

#### 全日制

区分	補職名	副校長	教頭	教諭	主幹	教諭(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	合計
転出者		1	1	3	1				6
退職者				2		2		1	5
再任用(退職)				5					5
転入者		1	1	3	1				6
新任者				1		1	2	1	5
再任用(新任)				5					5
差引増減		0	0	△1	0	△1	2	0	0

#### 定時制

区分	補職名	教諭	教諭(臨)	主事	非常勤講師	合計
転出者		1		1		2
退職者			1		1	2
再任用(退職)						0
転入者				1		1
新任者		1			2	3
再任用(新任)						0
差引増減		0	△1	0	1	0

### (2) 現員数

(令和7年5月31日現在)

区分	補職名	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主幹	主査	主事	小計	教諭(臨)	非常勤講師	非常勤嘱託員	非常勤労務職員	外国語指導講師	小計	合計
全日制	男	1	1	1	23			26	1	1		1	3	1	3		3		7	36
	女				11	1	1	13			1		1		4	1		1	6	20
	計	1	1	1	34	1	1	39	1	1	1	1	4	1	7	1	3	1	13	56
定時制	男			1	5			6					0		4				4	10
	女				1	1		2				1	1		1				1	4
	計			1	6	1		8				1	1		5				5	14
合計		1	1	2	40	2	1	47	1	1	1	2	5	1	12	1	3	1	18	70

(再掲) 再任用教諭: 全日制フルタイム職員3人、週19時間25分2人

(3) 健康管理について (令和6年度・7年度)

教職員の健康状況については常に注意を払い、生活習慣病検診、結核検診、指定年齢検診、婦人科検診及び人間ドックの受診を促し、再検査者には現在の健康状況を確認し、疾病の早期発見・早期治療に努めている。熱中症や感染症の予防について周知した。

また、休暇取得によるワークライフバランスの実現、メンタルヘルス対策、ストレスチェック等、教職員の健康管理に配慮していく。

(4) 教職員の研修について

ア 全日制

(ア) 令和6年度

研修テーマ 「学校生活空間をデザインする」	
設定の理由 校内での余剰空間増加が見込まれる中、生徒にとってのよりよい学習・生活空間と、教職員にとってのよりよい職場空間を将来的に構築する基盤を協働的に作り上げるとともに、教職員間のコミュニケーションをより活発にする。	
研修内容	成果及び課題
5月 校内研修会 7月 授業アンケート 9月 校内研修会 10月 定期訪問(公開授業 研究授業 教科研修会、校内研修会) 12月 授業アンケート・各教科別授業改善のための研修 2月 先進校等訪問・校内研修会・反省と次年度への展望	5月には、職場環境としての学校施設の問題点・改善点を中心にグループワークを行い、併せて生徒の生活環境について討論した。9月の校内研修会では、HR委員を集めて出た意見を集約したものを生徒代表が発表、それを受けて次年度以降の教室配置や空き教室の利用についてグループワークを行った。10月定期訪問では、校外研修での経験を踏まえて、職場・学習環境に関する案が提示された。2月には職員の代表者が県内外の企業や高校を訪問し、施設・設備を見学し、校内研修で報告した。 研修を通じて学校施設の利活用について参加者全員が熱心に討議を行い、学校の将来像への展望も含め、職場・学習・生活環境を考える非常によい機会となり、多くのアイデアが出たことは収穫であった。

(イ) 令和7年度

研修テーマ 「3年間の進路指導の流れを改めて考える」	
設定の理由 大学入試出願時期の前倒しによる進路指導の長期化と職員数の減少で、従前通りの進路指導からの変化が求められる中、進路指導の流れを全員で協議して、共通認識のもと進路指導に臨めるようにする。	
研修内容	成果及び課題
5月 第1回校内研修会 講義「榛原高校の進路指導」 6月 第2回学校運営協議会での協議 7月 授業アンケート 9月 第2回校内研修会 10月 定期訪問(第3回校内研修会) 12月 授業評価アンケート	5月には、第1回校内研修会を開き、進路部長から「榛原高校の進路指導」として、1990年代からこれまでの、本校における進学状況の変化について、社会動向の変化とともに概観したのち、全教職員による5～6人でのグループ協議を行った。 6月末に開催する学校運営協議会においても同テーマで意見交換を行う予定である。進路指導の改善を目的としているが、そこから進路以外の分掌や職員の働き方、学校の在り方にまで議論が敷衍していくことを期待している。

イ 定時制

(7) 令和6年度

<p>&lt;研修テーマ&gt;          児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図ることの研修</p> <p>&lt;テーマ設定の理由&gt;          近年、定時制の課程への入学者も非常に多様な生徒が増加傾向にある。児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域・外部関係者に働き掛け、学校全体として生徒を支援する機能の充実を図る。</p>	
研 修 内 容	成 果 及 び 課 題
4月 特別な支援を必要とする生徒の情報共有 5月 年度当初アンケート分析結果の公表 6月 学校行事などの連携による研修 7/8月 1学期の振り返り、講演会の実施 9/10月 生徒理解、SNSトラブルの未然防止 11/12月 いじめ未然防止と人間関係づくり 1/2月 年間のまとめと次年度に向けて	定時制課程への入学希望が増加傾向にある一方、外国にルーツを持つ生徒や、特別支援を必要とする入学希望も増加傾向にある。様々な状況や対応が考えられるため、ケース会議や外部講師を招いての講演などを積極的に行い、生徒が有意義な学校生活を送れるよう、支援していきたい。

(i) 令和7年度

<p>&lt;研修テーマ&gt; ※2年目          児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図ることの研修</p> <p>&lt;テーマ設定の理由&gt;          近年、定時制の課程への入学者も非常に多様な生徒が増加傾向にある。児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域などに働き掛け、学校全体として生徒を支援する機能の充実を図る。</p>	
研 修 内 容	成 果 及 び 課 題
4月 特別な支援を必要とする生徒の情報共有 5月 年度当初アンケート分析結果の公表 6月 学校行事などの連携による研修 7/8月 1学期の振り返り、講演会の実施 9/10月 生徒理解、SNSトラブルの未然防止 11/12月 いじめ未然防止と人間関係づくり 1/2月 年間のまとめと次年度に向けて	昨年度からの引き続きの研修テーマとなる。定時制課程への入学希望が増加傾向にある一方、外国にルーツを持つ生徒や、特別支援を必要とする入学希望も大幅に増加傾向にある。様々な状況や対応が考えられるため、ケース会議や外部講師を招いての講演などを積極的に行い、生徒が有意義な学校生活を送れるよう、支援していきたい。

6 防災対策について

(1) 避難及び消火等訓練

	令和6年度		令和7年度	
全 日 制	6年8月	避難訓練(津波想定)	7年8月	避難訓練(地震・原子力災害想定)
	9月	県総合防災訓練参加	9月	県総合防災訓練参加
	12月	地域防災訓練参加	12月	地域防災訓練参加
	12月	避難訓練(火災想定)	12月	避難訓練(火災想定)
定 時 制	6年5月	避難訓練(津波想定) 校内	7年5月	避難訓練(津波想定) 校内
	9月	県総合防災訓練参加	9月	県総合防災訓練参加
	10月	避難訓練(火災想定) 校内	10月	避難訓練(火災想定) 校内
	12月	地域防災訓練参加	12月	地域防災訓練参加
	7年3月	避難訓練(津波想定) 避難タワー	8年3月	避難訓練(津波想定) 避難タワー

(2) 地震発生時等における動員計画

勤務時間外において、震度5弱又は5強の場合には、災害応急対策要員は参集し、その他職員は連絡が取れる状態を確保する。また、震度6弱以上の場合は、全職員による配備体制をとる。年度当初の防災計画書配布時に、各要員名の発表とともに、全職員に対し周知徹底を図っている。

7 学校開放について

学校行事に支障のない範囲で、地域住民等に体育施設を開放している。

(1) 令和6年度

施設名	利用日数 (日)	利用人数 (人)	利用目的	利用者負担金 (円)
講 堂	46	597	バドミントン	12,949
体 育 館	3	29	バスケットボール	1,727
柔剣道場	81	3,229	剣 道	23,460
卓 球 場	6	50	卓 球	689
合 計	136	3,905		38,825

(2) 令和7年度 (令和7年5月31日現在)

施設名	利用日数 (日)	利用人数 (人)	利用目的	利用者負担金 (円)
講 堂	18	241	バドミントン	4,378
柔剣道場	12	470	剣 道	3,243
卓 球 場	17	272	卓 球	1,698
合 計	47	983		9,319

## 事務執行の根拠法令調

項目	根 拠 法 令
1 学校教育 に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令
2 学校の管 理・運営 に関する こと	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法（第2条、第22条、第28条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等修学支援事業費補助金交付要綱 静岡県手数料徴収条例 静岡県情報公開条例施行規則 静岡県補助金等交付規則 高等学校遠距離通学費補助金交付要綱 給食費等高騰緊急対策事業費補助金交付要綱 高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与実施要綱 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与規則 静岡県高等学校定時制課程及び通信制課程修学資金貸与実施要綱 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律（第3条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条）

□ □ □ □

## 学 校 施 設 の 概 要

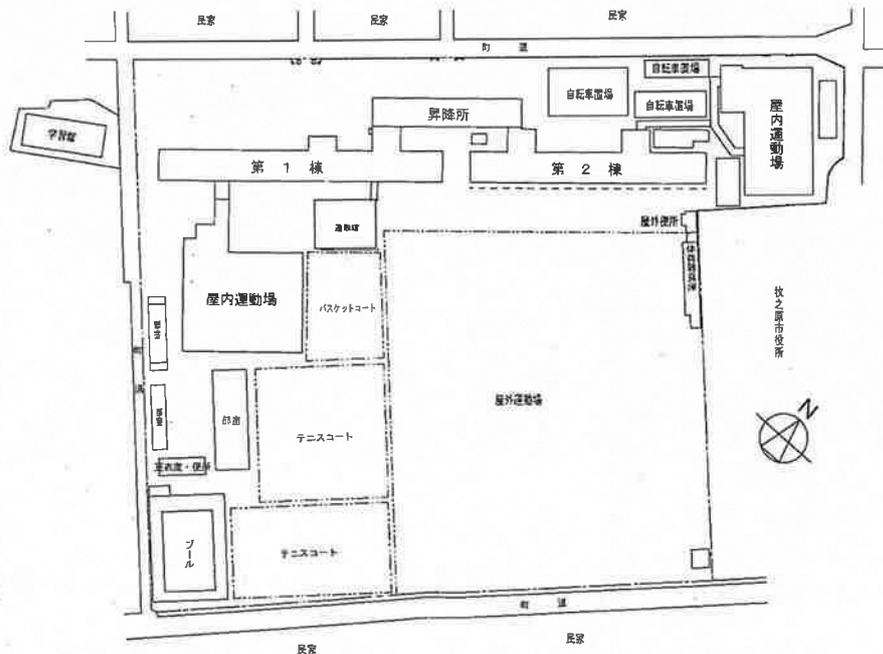
### 1 面積及び所有区分

(令和7年5月31日現在)

区 分	面 積 ㎡	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 ㎡	国 有 ㎡	市町村有 ㎡	後援会有 ㎡	民 有 ㎡	
学 校 敷 地	49,619.80	32,766.21			2,051.16	14,802.43	
内 校 舎 敷 地	14,896.76	12,896.53				2,000.23	
運 動 場 敷 地	32,671.88	19,869.68				12,802.20	
訳 その他の敷地	2,051.16				2,051.16		
校 舎	建 2,227.72 延 8,051.20	2,227.72 8,051.20					
体 育 館	建 2,242.61 延 3,832.02	2,242.61 3,832.02					
武 道 場	(建 629.10) (延 629.10)	(629.10) (629.10)					
その他の建物	建 2,520.18 延 3,354.77	2,121.88 2,851.72			398.30 503.05		
生 活 館	建 415.06 延 1,056.75					415.06 1,056.75	
プ ー ル	1個	1個					
職 員 住 宅	戸 12	戸 12					

### 2 配置・規模等

#### (1) 校舎等の配置図



#### (2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	49,619.80 ㎡	8,051.20 ㎡	32,671.88 ㎡
県平均	45,574.48 ㎡	9,782.41 ㎡	22,506.84 ㎡

□ □ □ □

在 籍 生 徒 調

(全日制)

(令和7年5月31日現在)

学年	学科別 区 分	普 通 科				理 数 科				合 計			
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計
1年	入学者	120	73	53	126	40	29	13	42	160	102	66	168
	増加 減少												
	現 在		73	53	126		29	13	42		102	66	168
2年	入学者	120	64	56	120	40	18	10	28	160	82	66	148
	増加 減少												
	2年時当初		1	1	2						1	1	2
	増加 減少		63	55	118		18	10	28		81	65	146
	増加 減少												
	現 在		63	55	118		18	10	28		81	65	146
3年	入学者	160	88	64	152	40	18	13	31	200	106	77	183
	増加 減少												
	2年時当初		2		2		1	1	2		3	1	4
	増加 減少		86	64	150		17	12	29		103	76	179
	増加 減少			(1)	(1)							(1)	(1)
	3年時当初		3	1	4						3	1	4
	増加 減少		83	64	147		17	12	29		100	76	176
	増加 減少		1		1						1		1
現 在		84	64	148		17	12	29		101	76	177	
合 計		400	220	172	392	120	64	35	99	520	284	207	491

(定時制)

(令和7年5月31日現在)

学年	学科別 区 分	普 通 科			
		定員	男子	女子	計
1年	入学者	40	12	3	15
	増加 減少				
	現 在		12	3	15
2年	入学者	40	11	6	17
	増加 減少				
	2年時当初		2	3	5
	増加 減少		9	3	12
	増加 減少		1	1	2
	現 在		10	4	14
3年	入学者	40	11	10	21
	増加 減少		(1)		(1)
	2年時当初		1		1
	増加 減少		11	10	21
	増加 減少				
	3年時当初		2		2
	増加 減少		9	10	19
	現 在		9	10	19
4年	入学者	40	5	2	7
	増加 減少				
	2年時当初		(1)		(1)
	増加 減少		4	2	6
	3年時当初		1		1
	増加 減少		1		1
	3年時当初		4	2	6
	増加 減少				
	3修卒		2		2
	4年時当初		2	2	4
	増加 減少				
現 在		2	2	4	
合 計		160	33	19	52

## 入学志願者及び入学者数調

## &lt;全日制&gt;

区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	普通科	理数科	普通科	理数科	普通科	理数科	普通科	理数科	普通科	理数科	
生徒定員(A)	160	40	160	40	160	40	120	40	120	40	
募集者数(B)	160	40	160	40	160	40	120	40	120	40	
志願者数	男	81 <sup>(2)</sup>	31	88 <sup>(2)</sup>	31	88	16 <sup>(2)</sup>	65	18	74	29
	女	55	10	68	12	64	13	57	10	54	13
	計(C)	136 <sup>(2)</sup>	41	156 <sup>(2)</sup>	43	152	29 <sup>(2)</sup>	122	28	128	42
受検者数	男	81 <sup>(2)</sup>	31	88 <sup>(2)</sup>	29	88	16 <sup>(2)</sup>	65	18	74	29
	女	55	10	68	11	64	13	57	10	54	13
	計(D)	136 <sup>(2)</sup>	41	156 <sup>(2)</sup>	40	152	29 <sup>(2)</sup>	122	28	128	42
合格者数	男	81 <sup>(2)</sup>	30	88 <sup>(2)</sup>	29	88	16 <sup>(2)</sup>	64	18	73	29
	女	55	10	68	11	64	13	56	10	53	13
	計(E)	136 <sup>(2)</sup>	40	156 <sup>(2)</sup>	40	152	29 <sup>(2)</sup>	120	28	126	42
志願倍率(C)/(B)	0.85	1.03	0.98	1.08	0.95	0.73	1.02	0.70	1.07	1.05	
受検倍率(D)/(B)	0.85	1.03	0.98	1.00	0.95	0.73	1.02	0.70	1.07	1.05	
入学者数	男	83	30	90	29	88	18	64	18	73	29
	女	55	10	68	11	64	13	56	10	53	13
	計(F)	138	40	158	40	152	31	120	28	126	42
充足率(F)/(A)	0.86	1.00	0.99	1.00	0.95	0.78	1.00	0.70	1.05	1.05	

## &lt;定時制&gt;

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	普通科	普通科	普通科	普通科	普通科	
生徒定員(A)	40	40	40	40	40	
募集者数(B)	40	40	40	40	40	
志願者数	男	7	6	12	16 <sup>(1)</sup>	13 <sup>(1)</sup>
	女	4	2	10	6	3
	計(C)	11	8	22	22 <sup>(1)</sup>	16 <sup>(1)</sup>
受検者数	男	7	6	12	16 <sup>(1)</sup>	13 <sup>(1)</sup>
	女	4	2	10	6	3
	計(D)	11	8	22	22 <sup>(1)</sup>	16 <sup>(1)</sup>
合格者数	男	5	6	11	11	11 <sup>(1)</sup>
	女	3	2	10	6	3
	計(E)	8	8	21	17	14 <sup>(1)</sup>
志願倍率(C)/(B)	0.28	0.20	0.55	0.55	0.40	
受検倍率(D)/(B)	0.28	0.20	0.55	0.55	0.40	
入学者数	男	5	5	11	11	12
	女	3	2	10	6	3
	計(F)	8	7	21	17	15
充足率(F)/(A)	0.20	0.18	0.53	0.43	0.38	

□□□□

## 卒業生の動向調

### 1 進路状況 (全日制)

学 科 別		普 通 科			理 数 科			(計)		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		156	133	155	36	39	39	192	172	194
内     訳	(進学志願者)	(155)	(130)	(154)	(36)	(39)	(38)	(191)	(169)	(192)
	進 学 者									
	大学・短大	138	114	135	34	39	35	172	153	170
	専修・各種学校等	12	13	14	1		1	13	13	15
	小 計	150	127	149	35	39	36	185	166	185
	就 職 者		3	1			1		3	2
	自 営 者									
進学準備者	3	2	4	1		2	4	2	6	
そ の 他	3	1	1				3	1	1	
合 計		156	133	155	36	39	39	192	172	194

### (定時制)

学 科 別		普 通 科		
		令和4年度	令和5年度	令和6年度
卒業生徒数		15	7	8
内     訳	(進学志願者)		(2)	(2)
	進 学 者			
	大学・短大			2
	専修・各種学校等		2	
	小 計	0	2	2
	就 職 者	9	4	3
	自 営 者			1
進学準備者				
そ の 他	6	1	2	
合 計		15	7	8

### 2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職希望者数	1	3	3
求 人 数	69	245	214
求 人 倍 率	69.0	81.7	71.3

### 3 資格取得状況(全日制のみ)

(令和6年度)

課 程 別	全 日 制		
	普通科	理数科	計
卒業生徒数	155	39	194
実用英語技能検定 2級	19	12	31
" 準2級	43	11	54
計	62	23	85

# 生 徒 の 状 況

## 1 生徒の出身地域及び通学方法

### (1) 出身地

(全日制) (令和7年5月31日現在) (単位:人)

市 町 名	牧之原市	吉田町	御前崎市	焼津市	島田市	藤枝市	菊川市	静岡市	合 計
生徒数	205	112	96	33	30	7	3	5	491
構成比%	41.8	22.8	19.6	6.7	6.1	1.4	0.6	1.0	100%

(定時制) (令和7年5月31日現在) (単位:人)

市 町 名	牧之原市	吉田町	御前崎市	焼津市	島田市	菊川市	掛川市	合 計
生徒数	21	16	5	4	4	1	1	52
構成比%	40.4	30.8	9.6	7.7	7.7	1.9	1.9	100%

### (2) 通学方法

(全日制) (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	徒 歩	自 転 車	バ ス	自 転 車 ・ バ ス	そ の 他	合 計
生徒数	21	302	78	30	60	491
構成比%	4.3	61.5	15.9	6.1	12.2	100%

(定時制) (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	徒 歩	自 転 車	バ ス	原 付	自 動 二 輪	自 家 用 車	そ の 他	合 計
生徒数	4	27	4	4	1	3	9	52
構成比%	7.7	51.9	7.7	7.7	1.9	5.8	17.3	100%

### (3) 生徒の年齢 (定時制)

(令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳超	合 計
1 年	10	4									1	15
2 年		8	4		1						1	14
3 年			17	2								19
4 年				2	2							4
計	10	12	21	4	3						2	52

### (4) 生徒の就業状況 (定時制)

(令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	建 設	製 造	卸小売	サービス業	卸小売	各種学校	その他	無 職	合 計
1 年				1			2	12	15
2 年				10			1	3	14
3 年	1	2		8			1	7	19
4 年				2			2		4
合計	1	2		21			6	22	52

## 2 部の加入状況

(全日制) (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	運動部	文化部	未加入者	計	
部 数	10	9		19	
男子	1 年	85	14	3	102
	2 年	63	16	2	81
	3 年	69	12	20	101
	計 (A)	217	42	25	284
	構成比	76.4	14.8	8.8	100%
女子	1 年	20	45	1	66
	2 年	24	40	1	65
	3 年	34	40	2	76
	計 (B)	78	125	4	207
	構成比	37.7	60.4	1.9	100%
合計	(A+B)	295	167	29	491
	構成比	60.1	34.0	5.9	100%

(定時制) (令和7年5月31日現在) (単位:人)

区 分	運動部	文化部	未加入者	計	
部 数	3			3	
男子	1 年	5		7	12
	2 年	3		7	10
	3 年	3		6	9
	4 年	1		1	2
	計 (A)	12		21	33
構成比	36.4		63.6	100%	
女子	1 年		3		3
	2 年		4		4
	3 年	1		9	10
	4 年			2	2
	計 (B)	1		18	19
構成比	5.3		94.7	100%	
合計	(A+B)	13		39	52
	構成比	25.0		75.0	100%

### 授業料 収 納 状 況 調

(全日制)

(令和6年度)

期 月	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
	1年		2年		3年		計		納期内収納額	納期後	収入		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	収納率	収納額	未済額		
別 別	人	円	人	円	人	円	人	円	%	円	円		
期	4											A. 期首収納権利発生額 = 3,059,100 円 ( 103 人× 9,900 円× 3 月 )  B. 収納権利増減(▲)額 ▲ 29,700 円 (内訳) 10月25日:3年:就学支援金認定(4~6月)▲1 1人×▲9,900円×3月=▲29,700円  C. 収納必要額 A(±)B = 3,029,400 円	
	5												
	6												
	7	21	623,700	38	1,128,600	44	1,306,800	103	3,059,100	2,999,700	98.1		59,400
	8										59,400		
	10					▲ 1	▲ 29,700	▲ 1	▲ 29,700				
	11								▲ 29,700				
	計	21	623,700	38	1,128,600	43	1,277,100	102	3,029,400	2,970,000	98.0		59,400
二 期	7											A. 期首収納権利発生額 = 4,950,000 円 ( 100 人× 9,900 円× 5 月 )  B. 収納権利増減(▲)額 = ▲ 19,800 円 (内訳) 9月30日:2年:転学▲1 1人×▲9,900円×2月=▲19,800円  C. 収納必要額 A(±)B = 4,930,200 円	
	8												
	9												
	10	25	1,237,500	32	1,564,200	43	2,128,500	100	4,930,200	4,831,200	98.0		99,000
	11										99,000		
	計	25	1,237,500	32	1,564,200	43	2,128,500	100	4,930,200	4,831,200	98.0		99,000
三 期	12											A. 期首収納権利発生額 = 3,920,400 円 ( 99 人× 9,900 円× 4 月 )  B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円  C. 収納必要額 A(±)B = 3,920,400 円	
	1	25	990,000	31	1,227,600	43	1,702,800	99	3,920,400	3,920,400	100.0		0
	2												
	3												
	計	25	990,000	31	1,227,600	43	1,702,800	99	3,920,400	3,920,400	100.0		0
合計	71	2,851,200	101	3,920,400	129	5,108,400	301	11,880,000	11,721,600	98.7	158,400	0	D. 収納必要額 = 11,880,000 円

### 授業料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

(定時制)

期 月	調 定 の 状 況										収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況			
	1年		2年		3年		4年		計		納期内収納額		納期後		収入		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%	円		円		
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円					A. 期首収納権利発生額 = 16,200 円 ( 2人× 2,700円× 3月 ) B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円 C. 収納必要額 A(±)B = 16,200 円	
	5																
	6																
	7	2	16,200								2	16,200	8,100	50.00			8,100
	9														8,100		
	計	2	16,200	0	0	0	0	0	0	0	2	16,200	8,100	50.00	8,100		0
二 期	7															A. 期首収納権利発生額 = 54,000 円 ( 4人× 2,700円× 5月 ) B. 収納権利増減(▲)額 = ▲ 8,100 円 8月30日:4年:退学▲1 1人× ▲ 2,700円× 3月 = ▲ 8,100 円 11月29日:1年:退学▲1 1人 ▲ 2,700円× 0月 = 0 円 C. 収納必要額 A(±)B = 45,900 円	
	8																
	9																
	10	2	27,000						2	18,900	4	45,900	32,400	70.6			13,500
	11														13,500		
	計	2	27,000	0	0	0	0	0	2	18,900	4	45,900	32,400	70.6	13,500		0
三 期	12															A. 期首収納権利発生額 = 21,600 円 ( 2人× 2,700円× 4月 ) B. 収納権利増減(▲)額 = ▲ 2,700 円 <内訳> 2月28日:1年:退学▲1 1人× ▲ 2,700円× 1月 = ▲ 2,700 円 C. 収納必要額 A(±)B = 18,900 円	
	1	1	10,800						1	10,800	2	21,600	10,800	50.0			10,800
	2														10,800		
	3		▲ 2,700									▲ 2,700			▲ 2,700		
	計	1	8,100	0	0	0	0	0	1	10,800	2	18,900	10,800	57.1	8,100		0
合計	5	51,300	0	0	0	0	0	3	29,700	8	81,000	51,300	63.3	29,700	0	D. 収納必要額 = 81,000 円	

□□□□

### 授 業 料 収 納 状 況 調

(令和7年度)  
(令和7年5月31日現在)

(全日制)

期 月	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
	1年		2年		3年		計		納期内収納額	納期後	収入		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	収納率	収納額	未済額		
別 別	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円	
一 期	4												A. 期首収納権利発生額 = 2,673,000 円 ( 90 人 × 9,900 円 × 3 月 )  B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円  C. 収納必要額 A(±)B = 2,673,000 円
	5												
	6												
	7												
	計												
二 期	7												
	8												
	9												
	10												
	計												
三 期	12												
	1												
	2												
	3												
	計												
合計												D. 収納必要額 = 2,673,000 円	

□ □ □ □

### 授業料 収 納 状 況 調

(令和7年度)  
(令和7年5月31日現在)

(定時制)

期 月	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況	
	1年		2年		3年		計		納期内収納額	納期後	収入		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	円	%	円		円
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円				A. 期首収納権利発生額 = 0 円 ( 0 人 × 2,700 円 × 3 月 )  B. 収納権利増減(▲)額 = 0 円  C. 収納必要額 A(±)B = 0 円
	5												
	6												
	7												
	計												
二 期	7												
	8												
	9												
	10												
	計												
三 期	12												
	1												
	2												
	3												
	計												
合計												D. 収納必要額 = 0 円	

□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年5月31日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	193	0

□ □ □ □

## 預 金 調

(令和7年5月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行榛原支店	無利息型 普通預金	□□□□	静岡県立榛原高等学校 資金前渡者校長 石川 徹	0	給与等 振込口座
静岡銀行榛原支店	無利息型 普通預金	□□□□	(自振口) 静岡県立榛原高等学校 資金前渡者校長 石川 徹	0	公共料金等 自動振替口座
残 高 合 計				0	

### 郵券等受払調

(令和7年5月31日現在)

(単位：枚、円)

区 分	種 類	令和6年度						令和7年度						摘要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額
郵 券	1円券	28	28	0	0	22	22	6	6	0	0	2	2	4	4	通信用
	5円券	0	0	20	100	18	90	2	10	0	0	2	10	0	0	
	10円券	47	470	0	0	34	340	13	130	0	0	0	0	13	130	
	63円券	53	3,339	0	0	42	2,646	11	693	0	0	11	693	0	0	
	84円券	17	1,428	0	0	17	1,428	0	0	0	0	0	0	0	0	
	85円券	0	0	20	1,700	10	850	10	850	0	0	3	255	7	595	
計		/	5,265	/	1,800	/	5,376	/	1,689	/	0	/	960	/	729	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち、5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		3,501,564	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		3,071,774	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		1,489,728	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		355,080	
計					9,062,208	8,418,146	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,111,000	
計					1,798,500	1,111,000	0
(16) 公有財産購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		0	
計					581,900	0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費		51,273,327	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費		32,398	
計					53,139,317	51,305,725	0
(21) 補償、補填及び賠償金							
計					0	0	0

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年5月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	176,000	
	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	20,520	
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	8,547	
	一般	教育費	学校教育費	健康体育費	54,248	
計					259,315	0
(14) 工事請負費						
計					0	
(16) 公有財産購入費						
計					0	
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	
計					0	
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	13,000	
計					13,000	0
(21) 補償、補填及び賠償金						
計					0	

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要											
				当初額	変更増減額	計																	
1	(事務関係) 榛原高等学校外4校警備業務	総合警備保障 (株)静岡支社	13,962,960	7,691,640	280,500	7,972,140	一般	元.10.1 ～ 6.9.30		(7,146,876)	学校施設の機械警備	元 長期相良高校清流館高校吉田特別支援学校吉田特支駿遠分教室											
									6.5.31	137,544													
									6.6.28	137,544													
									6.7.26	137,544													
									6.8.30	137,544													
									6.9.30	137,544													
									6.10.31	137,544													
									小計	825,264													
									2	榛原高等学校外3校警備業務			セコム(株)	11,323,752	5,280,000	0	5,280,000	一般	6.10.1 ～ 11.9.30	6.11.29	88,000	学校施設の機械警備	元 長期相良高校吉田特別支援学校吉田特支駿遠分教室
																				6.12.26	88,000		
7.1.31	88,000																						
7.2.28	88,000																						
7.3.28	88,000																						
7.4.30	88,000																						
小計	528,000																						
3	榛原高等学校外2校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	5,061,100	3,564,000	0	3,564,000	一般	6.4.1 ～ 7.3.31			6.10.25	2,495,900								消防用設備、防火設備の維持点検	相良高校吉田特別支援学校		
											7.4.11	1,068,100											
											小計	3,564,000											
4	夜間定時制高等学校校舎等管理業務	(株)アイズセキュリティ	979,000	979,000	0	979,000	随契	6.4.5 ～ 7.3.31	6.5.30	88,000	夜間定時制高等学校施設戸締り、施錠等管理	随契1号(少額)											
									6.6.28	115,500													
									6.7.26	104,500													
									6.8.28	77,000													
									6.10.28	99,000													
									6.11.25	115,500													
									6.12.26	99,000													
									7.1.27	77,000													
									7.2.28	99,000													
									7.3.28	99,000													
7.4.30	5,500																						
小計	979,000																						
5	給食配膳業務	(公社)牧之原市シルバー人材センター	355,080	355,080	0	355,080	随契	6.4.10 ～ 7.3.19	6.5.20	43,880	定時制給食の配膳等業務	随契1号(少額)											
									6.6.20	33,880													
									6.7.19	47,680													
									6.8.21	8,580													
									6.9.20	1,680													
									6.10.18	45,380													
									6.11.18	43,080													
									6.12.20	45,380													
									7.1.20	10,880													
									7.2.20	40,780													
7.3.19	33,880																						
小計	355,080																						
6	榛原高等学校外2校可燃物収集運搬処分業務	(株)榛原クリーンサービス	(相良高校・吉田特支)	(相良高校・吉田特支)	(相良高校・吉田特支)	0	(相良高校)	随契	6.4.5 ～ 7.3.28	6.5.31	26,938	可燃物の収集運搬及び処分	随契1号(少額)単価契約相良高校吉田特別支援学校										
			運搬料	運搬料	運搬料					6.6.28	25,509												
			1,980/回	1,540/回	1,540/回					6.7.26	30,184												
			処分料	処分料	処分料					6.8.28	32,235												
			16.5/kg	16.5/kg	16.5/kg					6.9.30	22,450												
			(相良高校)	(相良高校)	(相良高校)					6.10.28	21,290												
			運搬料	運搬料	運搬料					6.11.25	29,766												
			2,420/回	1,540/回	1,540/回					6.12.26	32,774												
			処分料	処分料	処分料					7.1.30	33,594												
			16.5/kg	16.5/kg	16.5/kg					7.2.28	28,165												
			7.3.28	28,566																			
			7.4.30	26,471																			
小計				337,942																			

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
7	産業廃棄物収集・運搬処分業務	(株)アドバンス中部サービス	運搬料 3,850/回 処分料 132.0/kg	運搬料 3,850/回 処分料 132.0/kg	0	運搬料 3,850/回 処分料 132.0/kg	随契	6. 4. 5 ～ 7. 3. 31	6. 5. 21 6. 6. 20 6. 7. 16 6. 8. 16 6. 9. 17 6. 10. 15 6. 11. 15 6. 12. 16 7. 1. 20 7. 2. 18 7. 3. 17 7. 4. 15 小計	7,150 5,962 5,566 5,302 5,170 5,302 5,038 5,170 4,774 5,038 5,170 7,018 66,660	産業廃棄物（ビニール、プラスチック）の収集運搬及び処分	随契1号（少額） 単価契約
8	榛南地区教職員住宅浄化槽保守点検業務	(有)榛原衛生社	35,200	35,200	0	35,200	随契	6. 4. 15 ～ 7. 3. 31	6. 5. 22 6. 8. 30 6. 11. 18 7. 2. 27 小計	8,800 8,800 8,800 8,800 35,200	榛南地区教職員住宅浄化槽保守点検	随契1号（少額）
9	榛南地区教職員住宅消防用設備点検業務	セルコ(株)静岡支店	99,000	77,000	0	77,000	随契	6. 4. 23 ～ 7. 3. 31	6. 10. 11 7. 4. 4 小計	44,000 33,000 77,000	榛南地区教職員住宅消防用設備点検	随契1号（少額）
10	榛原高等学校外1校GHPエアコン保守点検業務	(株)テクノフタナベ	1,733,600	1,650,000	0	1,650,000	一般	6. 6. 27 ～ 7. 3. 10	6. 8. 21 7. 1. 30 小計	1,376,100 273,900 1,650,000	ガスヒートポンプエアコン保守点検	吉田特別支援学校
	合計	10件								8,418,146		

参考

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)		1,371,480	0	1,371,480		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31			電気工作物の維持点検保安業務	相良高校
参考2	浄化槽保守点検業務	ニッケン消毒(株)		1,463,000	0	1,463,000		6. 4. 1 ～ 7. 3. 31			浄化槽維持管理保守点検	島田商業高校
	計	2件										

## 委 託 料 に 関 す る 調

(令和7年度)  
(令和7年5月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額 円	契 約 金 額			契約締結方法	契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額 円	委託業務の内容	摘要
				当 初 額 円	変 更 増 減 額 円	計 円						
1	(事務関係) 榛原高等学校外3校警備業務	セコム(株)	11,323,752	5,280,000	0	5,280,000	一般	6. 10. 1 ~ 11. 9. 30	7. 5. 30  小計	(528,000) 88,000  88,000	学校施設の機械警備	元 長期相良高校吉田特別支援学校吉田特支駿遠分教室
2	榛原高等学校外2校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	5,902,600	3,828,000	0	3,828,000	一般	7. 4. 1 ~ 8. 3. 31	小計	0	消防用設備、防火設備の維持点検	相良高校吉田特別支援学校
3	夜間定時制高等学校校舎等管理業務	(株)アイズセキュリティ	1,324,400	1,135,200	0	1,135,200	随契	7. 4. 14 ~ 8. 3. 12	7. 5. 30  小計	79,200  79,200	夜間定時制高等学校施設戸締り、施錠等管理	随契1号(少額)
4	給食配膳業務	(公社)牧之原市シルバー人材センター	402,180	402,180	0	402,180	随契	7. 4. 9 ~ 8. 3. 19	7. 5. 23  小計	54,248  54,248	定時制給食の配膳等業務	随契1号(少額)
5	榛原高等学校外2校可燃物収集運搬処分業務	(有)榛原クリーンサービス	(榛原高校・吉田特支) 運搬料 1,980/回 処分料 16.5/kg (相良高校) 運搬料 2,420/回 処分料 16.5/kg	(榛原高校・吉田特支) 運搬料 1,540/回 処分料 16.5/kg (相良高校) 運搬料 1,540/回 処分料 16.5/kg	0	(榛原高校・吉田特支) 運搬料 1,540/回 処分料 16.5/kg (相良高校) 運搬料 1,540/回 処分料 16.5/kg	随契	7. 4. 8 ~ 8. 3. 31	7. 5. 30  小計	22,159  22,159	可燃物の収集運搬及び処分	随契1号(少額) 単価契約 相良高校吉田特別支援学校
6	産業廃棄物収集・運搬処分業務	(株)アドバンス中部サービス	運搬料 4,400/回 処分料 132.0/kg	運搬料 4,400/回 処分料 132.0/kg	0	運搬料 4,400/回 処分料 132.0/kg	随契	7. 4. 8 ~ 8. 3. 31	7. 5. 23  小計	6,908  6,908	産業廃棄物(ビニール、プラスチック)の収集運搬及び処分	随契1号(少額) 単価契約
7	榛南地区教職員住宅浄化槽保守点検業務	(有)榛原衛生社	35,200	35,200	0	35,200	随契	7. 4. 10 ~ 8. 3. 31	7. 5. 30  小計	8,800  8,800	榛南地区教職員住宅浄化槽保守点検	随契1号(少額)
8	榛南地区教職員住宅消防用設備点検業務	セルコ(株)静岡支店	99,000	77,000	0	77,000	随契	7. 4. 23 ~ 8. 3. 31	小計	0	榛南地区教職員住宅消防用設備点検	随契1号(少額)
合 計		8件							小計	259,315		

参考

管理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
参考1	自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト㈱	/	1,409,760	0	1,409,760	/	7.4.1 ~ 8.3.31	/	/	電気工作物の維持点検保安業務	相良高校
参考2	浄化槽保守点検業務	ニッケン消毒㈱	/	1,540,000	0	1,540,000	/	7.4.1 ~ 8.3.31	/	/	浄化槽維持管理保守点検	島田商業高校
	計	2件										

□ □ □ □

補助金支出調

(令和6年度)

整理 番号	対 象 事 業 名	交付先	補助の 根拠	事業の 実績	総事業費	補助 金額	補 助 率	交 付 決 定		交 付		事 業 完 了		摘要
								年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
1	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金	榛原高等学校定時制課程生徒 6件	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱	定時制の課程に在学する生徒を対象とした教科書等購入に要した経費の補助事業	円 32,327	円 32,327	% 100	R7. 1. 15 R7. 1. 22	円 26,926 5,401	R7. 1. 31 R7. 1. 22	円 26,926 5,401	R6. 12. 20	R6. 12. 20	
2	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金	榛原高等学校定時制課程生徒 4件	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱	定時制の課程に在学する生徒を対象とした授業日等の夕食時の給食喫食に要した経費の補助事業	円 24,832	円 24,832	100	R7. 1. 15	円 24,832	R7. 1. 31	円 24,832	R6. 11. 29	R6. 11. 29	
3	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金	榛原高等学校定時制課程生徒 4件	高等学校定時制の課程及び通信制の課程修学補助金交付要綱	定時制の課程に在学する生徒を対象とした授業日等の夕食時の給食喫食に要した経費の補助事業	円 7,566	円 7,566	100	R7. 3. 4	円 7,566	R7. 3. 21	円 7,566	R7. 2. 21	R7. 2. 21	
計		14件			円 64,725	円 64,725			円 64,725		円 64,725			

令和7年度 なし (令和7年5月31日現在)

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催案内	教育に関する研究協議	円 4,000	6. 4. 30
2	令和6年度東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催案内	生徒指導に関する協議	2,000	6. 7. 11
3	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第1期分47人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	378,000	6. 7. 31
4	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第1期分2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	16,200	6. 7. 31
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期419人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	12,434,400	6. 7. 31
6	第52回全国理数科教育研究大会参加費	全国理数科研究大会事務局	実施要項	高等学校理数科教育の研究協議	5,000	6. 9. 25
7	令和6年度東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海地区高等学校教頭・副校長会連絡協議会会長	実施要項	教育に関する研究協議	2,000	6. 9. 30
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期421人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	20,750,400	6. 10. 31
9	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第2期分45人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	588,600	6. 10. 31
10	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第2期分1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	13,500	6. 10. 31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期1人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	29,700	6. 11. 8
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期418人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	16,552,800	7. 1. 31
13	高等学校等就学支援金	定時制高等学校授業料(第3期分42人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	450,900	7. 1. 31
14	高等学校等学び直し支援金	定時制高等学校授業料(第3期分2人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校等に在学する生徒の授業料に充てる	13,500	7. 1. 31
	計	14件			51,241,000	

□ □ □ □

## 負担金支出調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支 出 年月日
1	甲種防火管理新規講習受講料	日本防火・防災協会	協会ホームページ	甲種防火管理者任命のための資格取得	8,000 円	7.4.23
2	全国定時制通信制高等学校長会令和7年度第72回総会・研究協議会参加費	全国定時制通信制高等学校長会	開催案内	教育に関する調査・研究	1,000	7.4.25
3	全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催案内	教育に関する調査・研究	4,000	7.5.2
計		3件			13,000	

## 建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
				円	円	円	円
1	教育管理費	令和6年度 榛南地区教職員住 宅ガス給湯器更新 工事	牧之原市 静波地内	1,166,000	1,111,000	0	1,111,000
		合 計		1,166,000	1,111,000	0	1,111,000

(参考)

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当初額	変更増減額	計
				円	円	円	円
1	教育管理費	令和6年度 榛原高等学校排水 配管改修工事	牧之原市 静波地内	15,246,000	14,850,000	1,485,000	16,335,000
				円	円	円	円
2	教育管理費	令和6年度 榛原高等学校校舎 1号館図書室空調 設備更新工事	牧之原市 静波地内	27,742,000	25,850,000	△ 957,000	24,893,000
		合 計		42,988,000	40,700,000	528,000	41,228,000

令和7年度該当なし(令和7年5月31日現在)

# 事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	有限会社マスタ	6. 8. 27 6. 10. 9	円 1,111,000	教職員住宅ガス給湯器6台の更新一式	—	随契1号(少額) 令達 6.8.13 支払 6.11.8
			1,111,000			

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
一般	株式会社シンドウ商店	6. 6. 26 6. 11. 15	円 16,335,000	排水管の改修に係る機械設備工事一式	—	設備課
一般	株式会社太田	6. 11. 12 7. 3. 14	円 24,893,000	ガスヒートポンプ式空調機(5台)更新工事一式	—	設備課
			41,228,000			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,437,279		千円 6,534		千円 14,440		千円 1,429,373	
土地	m <sup>2</sup> 32,556.21	1,155,696	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 32,556.21	1,155,696	
建物	m <sup>2</sup> 6,592.21 14,734.94	236,214	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	9,445	m <sup>2</sup> 6,592.21 14,734.94	226,769	
工作物	個 77	40,987	個 5	6,534	個 1	4,995	個 81	42,526	
樹木	本 110	4,382	本		本		本 110	4,382	
普通財産		196,825		0		6,526		190,299	
土地	m <sup>2</sup> 1,519.08	52,677	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 1,519.08	52,677	
建物	m <sup>2</sup> 420.36 1,098.01	144,148	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>	6,526	m <sup>2</sup> 420.36 1,098.01	137,622	
工作物	個 7	0	個		個		個 7	0	
公有財産に 準ずるもの		174		0		0		174	
電話加入権	件 7	174	件		件		件 7	174	

(令和7年度)

区分	令和7年3月31日現在		増		減		令和7年5月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,429,373		千円 0		千円 0		千円 1,429,373	
土地	m <sup>2</sup> 32,556.21	1,155,696	m <sup>2</sup> 210.00	0	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 32,766.21	1,155,696	
建物	m <sup>2</sup> 6,592.21 14,734.94	226,769	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 6,592.21 14,734.94	226,769	
工作物	個 81	42,526	個		個		個 81	42,526	
樹木	本 110	4,382	本		本		本 110	4,382	
普通財産		190,299		0		0		190,299	
土地	m <sup>2</sup> 1,519.08	52,677	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 1,519.08	52,677	
建物	m <sup>2</sup> 420.36 1,098.01	137,622	m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup>		m <sup>2</sup> 420.36 1,098.01	137,622	
工作物	個 7	0	個		個		個 7	0	
公有財産に 準ずるもの		174		0		0		174	
電話加入権	件 7	174	件		件		件 7	174	

□ □ □ □

## 借 地 借 家 等 調

(令和7年5月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面積	借 料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	土地	敷地	牧之原市 静波谷田 山108	雑 種 地	建物敷地 運動場敷 地	14,802.43 m <sup>2</sup>		4,106,138 円	7.4.1 ～ 8.3.31	(公財)培本塾	建物敷地 運動場敷 地
2	土地	雑 種 地	牧之原市 静波870- 1他3筆	雑 種 地	駐 車 場 敷 地	2,051.16	-	無 償	7.4.1 ～ 12.3.31	(一社)静岡県 立榛原高等学 校後援会	駐 車 場 敷 地
3	建物	倉 庫 建	牧之原市 静波850	軽量鉄骨造 トタン葺 2階建		<u>104.74</u> 209.49	-	無 償	7.4.1 ～ 12.3.31	(一社)静岡県 立榛原高等学 校後援会	部室
4	建物	倉 庫 建	牧之原市 静波850	軽量鉄骨造 トタン葺 平屋建		<u>90.00</u> 90.00	-	無 償	7.4.1 ～ 12.3.31	(一社)静岡県 立榛原高等学 校後援会	部室
5	建物	倉 庫 建	牧之原市 静波850	軽量鉄骨造 トタン葺 平屋建		<u>105.52</u> 105.52	-	無 償	7.4.1 ～ 12.3.31	(一社)静岡県 立榛原高等学 校後援会	体育器具 庫
6	建物	事 務 所 建	牧之原市 静波谷田 山108	鉄筋コンクリート 造3階建		<u>396.70</u> 1,038.39	-	無 償	7.4.1 ～ 8.3.31	創立80周年記 念事業委員会	生活館
7	建物	雑 屋 建	牧之原市 静波谷田 山108	コンクリートブ ロック造平屋建		<u>10.58</u> 10.58	-	無 償	7.4.1 ～ 8.3.31	創立80周年記 念事業委員会	ガス庫
8	建物	雑 屋 建	牧之原市 静波谷田 山108	コンクリートブ ロック造平屋建		<u>7.78</u> 7.78	-	無 償	7.4.1 ～ 8.3.31	創立80周年記 念事業委員会	機械室
9	建物	倉 庫 建	牧之原市 静波谷田 山116-1	軽量鉄骨造 トタン葺 平屋建		<u>98.04</u> 98.04	-	無 償	7.4.1 ～ 12.3.31	(一社)静岡県 立榛原高等学 校後援会	野球部部 室
	計							4,106,138			

□ □ □ □

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年5月31日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度
長期 継続 契約	静岡県立 榛原高等学校 外3校 警備業務委託	榛原・相良高校・ 吉田特別 支援学校・ 駿遠分教室の 警備契約  (契約日) 令和6年9月18日	円 5,280,000	円 528,000	円 1,056,000	円 1,056,000	円 1,056,000	円 1,056,000	円 528,000
	印刷機 賃貸借契約	印刷機 賃貸借契約  (契約日) 令和6年4月1日	円 3,300,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	円 660,000	

## 行政財産貸付・使用許可調

(令和7年5月31日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的	
				台帳	現況		単価	年額				
1	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	18本	1,500	27,000	4.4.1 ～ 9.3.31	中部電力パワーグリッド(株)島田営業所長	電力供給施設の設置	
2	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	5本	1,500	7,500	4.4.1 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電気通信線路設備の設置	
3	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	0.28㎡	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	静岡二丁目町内会長	防犯街路灯の設置	
4	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	0.56㎡	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	牧之原市長	道路反射鏡の設置	
5	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	2.00㎡	-	免除	7.4.1 ～ 12.3.31	静岡県立榛原高等学校同窓会長	記念像の設置	
6	建物	事務所建	牧之原市静波 850	鉄筋コンクリート造 4階建		0.31㎡	-	免除	4.4.1 ～ 9.3.31	牧之原市長	防災行政無線の設置	
7	建物	事務所建	牧之原市静波 850	鉄筋コンクリート造 2階建		2.00㎡	-	35,750	5.4.1 ～ 8.3.31	西静岡ヤクルト販売(株)	自動販売機の設置	
8	建物	事務所建	牧之原市静波 850	鉄筋コンクリート造 2階建		2.00㎡	-	349,250	5.4.1 ～ 8.3.31	コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	自動販売機の設置	
9	建物	学校敷地	牧之原市静波 850	鉄筋コンクリート造 2階建		2.00㎡	-	165,000	5.4.1 ～ 8.3.31	ガイドードリンコ(株)東海営業部	自動販売機の設置	
10	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	2.00㎡	-	300,000	5.4.1 ～ 8.3.31	ガイドードリンコ(株)東海営業部	自動販売機の設置	
11	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地		24.00㎡	-	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立榛原高等学校PTA会長	雇用職員駐車場	
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造 4階建		9.90㎡					雇用職員執務	
12	土地	学校敷地	牧之原市静波 721番地2	学校敷地		8.00㎡	-	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立榛原高等学校同窓会長	雇用職員駐車場	
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造 3階建		3.30㎡					雇用職員執務	
13	土地	学校敷地	牧之原市静波 721番地2	学校敷地		8.00㎡	-	免除	6.4.1 ～ 9.3.31	静岡県立榛原高等学校PTA会長	雇用職員駐車場	
	建物	事務所建		鉄筋コンクリート造 3階建		3.30㎡					雇用職員執務	
14	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	0.23㎡	-	免除	5.4.1 ～ 10.3.31	静岡四丁目町内会長	消防用ホース格納箱、消火器格納箱の設置	
15	土地	学校敷地	牧之原市静波 850	学校敷地	学校敷地	1本	1,500	1,500	5.4.1 ～ 9.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電気通信線路設備の設置	
16	工作物	困障	牧之原市静波 850	鉄骨造 (鉄骨金網張り)		境界フェンス	0.24㎡	-	免除	3.12.1 ～ 8.3.31	牧之原市長	防犯看板の設置
合計								886,000				

□□□□

## 職 員 公 舎 管 理 状 況 調

(令和7年5月31日現在)

	所在地	建築年月	構造	管理戸(室)数(A)	入居戸(室)数(B)	Bの内他事務所職員入居戸(室)数	空家戸(室)数(A-B)	摘 要
1	牧之原市 静波	H11.9	RC造 3階建	12	5	2	7	他事務所職員 横須賀高校 1戸 掛川工業高校 1戸  空家 1戸 H18.11.1～ 1戸 H18.12.19～ 1戸 H27.6.23～ 1戸 H29.4.1～ 1戸 R1.8.1～ 1戸 R5.4.1～ 1戸 R5.8.1～
	計	/	/	12	5	2	7	

## 主 要 備 品 調

(令和7年5月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ周辺機器	パーソナルコンピュータ周辺機器 (榛原高等学校)	授業・講習用 毎日(年間190日)	令和1年9月	円 4,581,284
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) (パソコン教室パソコン)	授業用 毎日(年間190日)	平成27年3月	3,149,792
3	10-07	鍵盤楽器	鍵盤楽器 (グランドピアノ)	授業用 毎日(年間190日)	昭和58年3月	1,146,000
4	10-12	トレーニング用器具	トレーニング用具 (トレーニングマシン)	部活動用 毎日(年間300日)	平成1年12月	1,107,250
5	05-06	大気化学機器	大気化学機器 (ドラフトチャンバー)	授業用 (年間30日)	平成5年8月	975,410
6	10-12	トレーニング用器具	トレーニング用具 (トレーニングマシン)	部活動用 毎日(年間300日)	平成1年12月	952,750
7	02-02	放送装置	放送装置 (校内放送システム)	管理用 毎日	平成23年2月	926,625
8	10-07	鍵盤楽器	鍵盤楽器 (電子型グランドピアノ)	授業用 毎日(年間190日)	平成13年3月	924,000
9	01-02	台	台 (教師用実験台)	授業用 (年間90日)	平成5年8月	849,750
10	05-09	その他の天体気象観測機器	その他の天体気象観測機器 (地震記録計)	地震予知観測用 毎日(年間300日)	昭和62年10月	815,000
11	05-99	試験実験機器	その他の試験実験機器 (液晶マルチプロジェクター)	授業用 (年間130日)	平成10年2月	746,500
12	02-02	放送装置	放送装置 (ワイヤレス放送システム)	管理用 毎日	平成9年3月	704,520
13	05-99	試験実験機器	X線装置	授業用 (年間30日)	令和4年11月	695,200
14	05-05	その他の生物化学機器	その他の生物化学機器 (純水製造装置)	授業用 (年間90日)	平成28年11月	642,600
15	05-09	その他の天体気象観測機器	その他の天体気象観測機器 (ハンディコーダー)	地震予知観測用 (年間10日)	昭和62年10月	555,000
16	01-07	製本機	製本機 (丁合機)	資料作成用 毎日(年間300日)	平成28年12月	518,400
17	05-09	その他の天体気象観測機器	その他の天体気象観測機器 (地震データ収録装置)	地震予知観測用 毎日(年間300日)	平成6年1月	499,550
18	02-03	その他の再生機器	プロジェクタ	授業用 (年間50日)	令和4年9月	498,300
19	01-02	台	台 (教師用実験台)	授業用 (年間90日)	平成4年12月	498,005
20	02-01	その他の情報処理機器	平成28年度校内LANサーバー等一式	管理用 毎日	平成29年3月	475,956

□ □ □ □

## 職 員 調

全日制

(令和7年5月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	石川 徹	総括	□□□□	□□□□	□ □ □ □
2	副校長	松本 力也	総括補助	□□□□	□□□□	□ □ □ □
3	教頭	仲村 修也	総括補助 国語	□□□□	□□□□	□ □ □ □
4	事務長	前田 雅人	事務総括	□□□□	□□□□	□ □ □ □
5	教諭	吉永 光徳	数学	□□□□	□□□□	□ □ □ □
6	教諭	坂口 一人	外国語(英)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
7	教諭	榎林 直樹	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □
8	教諭	福與 敏也	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □
9	教諭	美澤 丈二	保健体育	□□□□	□□□□	□ □ □ □
10	教諭	増田 康子	国語	□□□□	□□□□	□ □ □ □
11	教諭	原口 教次	外国語(英)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
12	教諭	北川 浩	理科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
13	教諭	小川 俊昭	外国語(英)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
14	教諭	掛下 裕史	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □
15	教諭	山本 純子	家庭	□□□□	□□□□	□ □ □ □
16	教諭	吉村 敏博	保健体育	□□□□	□□□□	□ □ □ □
17	教諭	塚本 徹	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □
18	教諭	増田 堅悟	数学	□□□□	□□□□	□ □ □ □
19	教諭	山本 雅弘	数学	□□□□	□□□□	□ □ □ □
20	教諭	片岡 浩昭	理科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
21	教諭	鈴木 孝宏	外国語(英)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
22	教諭	杉本 麻衣	理科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
23	教諭	渡邊 ゆきの	外国語(英)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
24	教諭	石田 佳通	数学	□□□□	□□□□	□ □ □ □
25	教諭	榑原 弘子	理科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
26	教諭	竹田 明弘	保健体育	□□□□	□□□□	□ □ □ □
27	教諭	牧野 一高	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
28	教諭	楠木 翔	理科	□□□□	□□□□	□□□□
29	教諭	清水 久美子	外国語(英)	□□□□	□□□□	□□□□
30	教諭	水野 信吾	国語	□□□□	□□□□	□□□□
31	教諭	難波 幸平	数学	□□□□	□□□□	□□□□
32	教諭	石橋 菜々子	国語	□□□□	□□□□	□□□□
33	教諭	藤澤 彩乃	外国語(英)	□□□□	□□□□	□□□□
34	教諭	寺田 佳奈	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
35	教諭	曾根 史香	国語	□□□□	□□□□	□□□□
36	教諭	西澤 広太	地歴公民	□□□□	□□□□	□□□□
37	教諭	荒井 瞭志	数学	□□□□	□□□□	□□□□
38	教諭	山田 舞弥	数学	□□□□	□□□□	□□□□
39	養護教諭	渡邊 早紀	養護	□□□□	□□□□	□□□□
40	実習助手	赤堀 加奈	理科	□□□□	□□□□	□□□□
41	主幹	小林 克巳	管財・会計	□□□□	□□□□	□□□□
42	主査	吉野 恵美	給与・会計	□□□□	□□□□	□□□□
43	主事	尾田 真敏	庶務・会計	□□□□	□□□□	□□□□
平均年数					3年 4月	

定時制

(令和7年5月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教頭	越塚 茂生	総括補助	□□□□	□□□□	□□□□
2	教諭	鈴木 靖一郎	数学	□□□□	□□□□	□□□□
3	教諭	小野田 浩明	外国語(英)	□□□□	□□□□	□□□□
4	教諭	坂本 貢一	保健体育	□□□□	□□□□	□□□□
5	教諭	袴田 萌	国語	□□□□	□□□□	□□□□
6	教諭	嶋村 龍人	地歴公民	□□□□	□□□□	□□□□
7	教諭	陰山 開世	理科	□□□□	□□□□	□□□□
8	養護教諭	原 佳穂	養護	□□□□	□□□□	□□□□
9	主事	栗田 春花	庶務・会計	□□□□	□□□□	□□□□
平均年数					2年 11月	

□ □ □ □

## 職 員 調

全日制

(令和7年5月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	中村 優	情報	□□□□	□□□□	□ □ □ □
2	非常勤講師	川村 智子	国語	□□□□	□□□□	□ □ □ □
3	非常勤講師	石川 智彦	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □
4	非常勤講師	川村 正男	数学	□□□□	□□□□	□ □ □ □
5	非常勤講師	乗松 朋代	理科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
6	非常勤講師	石亀 典子	芸術(音)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
7	非常勤講師	森野 智江	芸術(美)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
8	非常勤講師	出 光 男	芸術(書)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
9	非常勤嘱託員	森岡 暁美	事務補助	□□□□	□□□□	□ □ □ □
10	非常勤労務職員	岡村 章	用務	□□□□	□□□□	□ □ □ □
11	非常勤労務職員	鈴木 英樹	用務	□□□□	□□□□	□ □ □ □
12	非常勤労務職員	鈴木 秀希	用務	□□□□	□□□□	□ □ □ □
13	外国語指導講師	アビゲイル・バーンズ	外国語(英)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
14	校医	石井 英正	内科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
15	校医	高木 平	内科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
16	校医	大井 通	歯科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
17	校医	柴田 和宏	歯科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
18	校医	中村 香菜江	耳鼻科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
19	校医	石井 正彦	眼科	□□□□	□□□□	□ □ □ □
20	薬剤師	中島 卓也		□□□□	□□□□	□ □ □ □

定時制

(令和7年5月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	非常勤講師	河野 哲也	国語	□□□□	□□□□	□ □ □ □
2	非常勤講師	鈴木 敏夫	地歴公民	□□□□	□□□□	□ □ □ □
3	非常勤講師	大塚 進	芸術(書)	□□□□	□□□□	□ □ □ □
4	非常勤講師	永井 令子	家庭	□□□□	□□□□	□ □ □ □
5	非常勤講師	大石 一乗	情報	□□□□	□□□□	□ □ □ □

□ □ □ □

## 職 員 の 年 齢 調

全日制

(令和7年5月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上      30 歳未満	4	
30 歳以上      40 歳未満	8	
40 歳以上      50 歳未満	8	
50 歳以上      56 歳未満	9	
56 歳以上      61 歳未満	9	
61 歳以上	5	再任用職員 5 名
計	43	平均年齢 47.4歳

定時制

(令和7年5月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	0 人	
20 歳以上      30 歳未満	4	
30 歳以上      40 歳未満	1	
40 歳以上      50 歳未満	0	
50 歳以上      56 歳未満	3	
56 歳以上      61 歳未満	1	
61 歳以上	0	
計	9	平均年齢 39.4歳

□ □ □ □

## 健 康 管 理

### 1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 53 人 職員数 53 人
受 診 率	100%
県 平 均 受 診 率	100%

(1) 未受診の理由

### 2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	0人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 0人
B 2		要経過観察 0人
C 1	勤務時間をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 2 (2)人
C 2		要経過観察 0人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療 19 (19)人
D 2		要経過観察 8 (8)人
D 3		医 療 不 要 21 (21)人
区 分 者 計		50 (50)人
未 区 分 者 数		2人
合 計		52人

(1) 管理区分A～C 2 該当者  
に対する処置状況

・ □ □ □ □                    □ 人  
・ □ □ □ □                    □ 人

(2) 未区分の理由

ア □ □ □ □                    □ 人  
イ □ □ □ □                    □ 人  
ウ □ □ □ □                    □ 人  
エ □ □ □ □                    □ 人